

人権に関する住民意識調査結果

平成27年11月実施
精華町

目次

I. 調査概要	1
----------------	----------

II. 調査結果	3
-----------------	----------

1. 人権に関する考え方や認識.....	3
2. 同和問題について.....	8
3. さまざまな人権について.....	18
4. インターネットによる人権侵害について.....	20
5. 人権に関する法律や行政の取り組みについて.....	24

I. 調査概要

【調査目的】

本調査は、平成18年3月に策定した「精華町人権教育・啓発推進計画」の改定にあたり、住民の意識や意向を見極め、今後の教育・啓発の取り組みに向けたより効果的な方策を検討するための基礎資料とするとともに、今後の人権教育・啓発の取り組みに生かすことを目的に実施した。

【調査対象・抽出方法】

- ・ 調査対象 平成27年10月1日現在、町内在住の20歳以上の男女3,000名
- ・ 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

【調査方法】

郵送配布・郵送回収

【調査時期】

平成27年11月27日(金)～平成27年12月15日(火)

平成28年1月8日(金)到着分までを集計の対象とする

【回収状況】

対象者数	3,000名
回収(平成28年1月8日到着分まで)	922名
回収率	30.7%

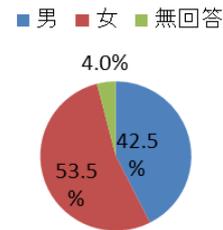
【報告書の見方】

- ・ 集計結果はすべて小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答比率の合計が100.0%にならないことがある。

【調査属性】

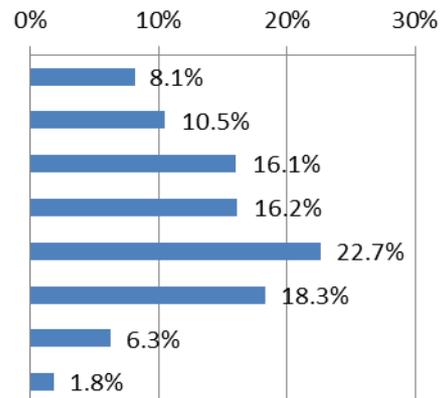
○性別

あなたの性別を教えてください。		回答数	割合%
1	男性	392	42.5
2	女性	493	53.5
	無回答	37	4.0
	合計	922	100.0



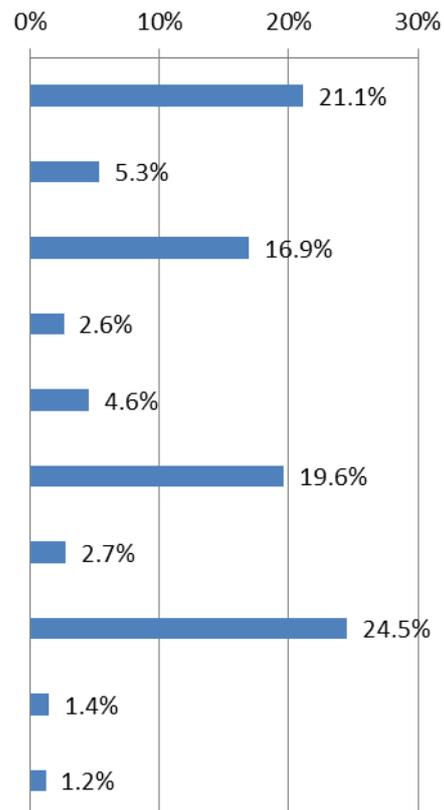
○年齢

あなたの年齢について、次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。		回答数	割合%
1	20歳代	75	8.1
2	30歳代	97	10.5
3	40歳代	148	16.1
4	50歳代	149	16.2
5	60歳代	209	22.7
6	70歳代	169	18.3
7	80歳以上	58	6.3
	無回答	17	1.8
	合計	922	100.0



○職業

あなたの職業について、次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。		回答数	割合%
1	会社・団体・個人商店などに正規で勤めている人	195	21.1
2	公務員(官公庁職員、教職員、消防職員、警察職員など)	49	5.3
3	パートタイムやアルバイトなど非正規で勤めている人(学生を除く)	156	16.9
4	会社などの役員(会社の社長・取締役・監査役、団体の理事、監事など)	24	2.6
5	自営業主(個人経営の商店主、工場主、農業主などの専業主や、開業医・弁護士・著述家など)	42	4.6
6	家事に従事している人(家事をしていて、他に収入を伴う仕事をしていない人)	181	19.6
7	学生(専門学校・大学などに通学している人)	25	2.7
8	無職(収入を伴う仕事をしていない人)	226	24.5
9	その他(1~8のいずれの区分にも該当しない場合)	13	1.4
	無回答	11	1.2
	合計	922	100.0

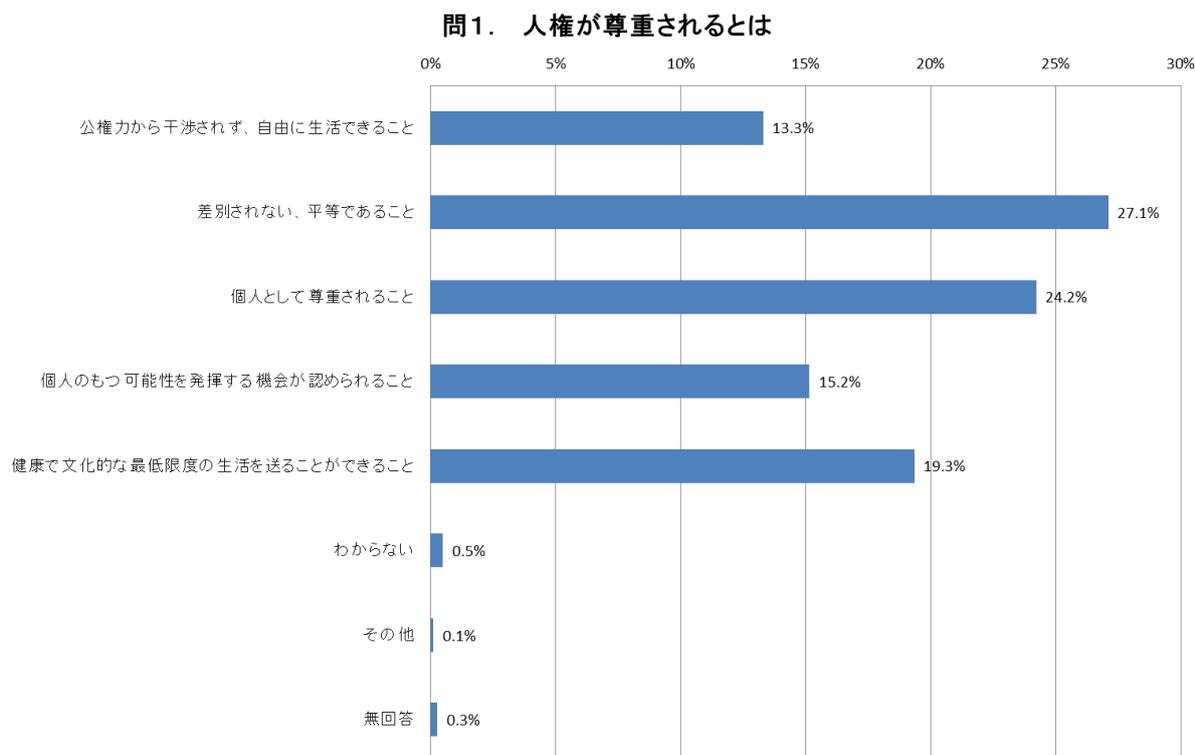


Ⅱ. 調査結果

1. 人権に関する考え方や認識

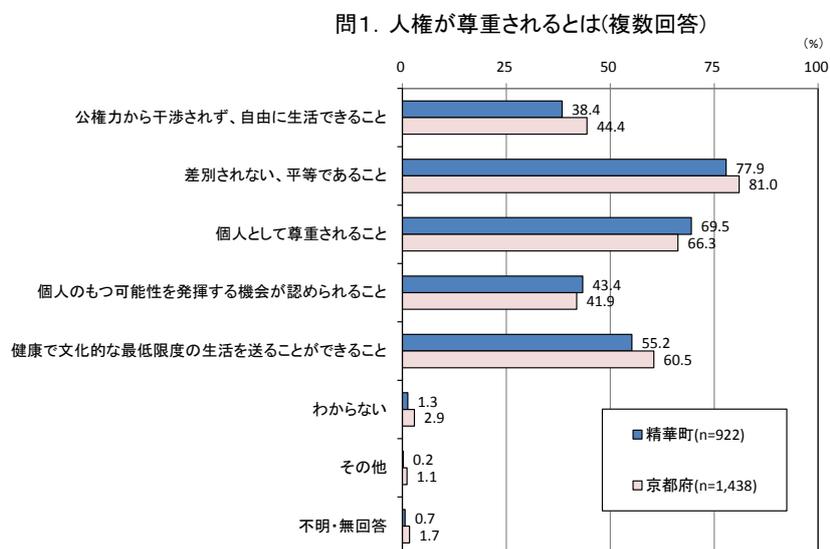
問1	あなたは、「人権が尊重される」とはどういうことだと思いますか。次の中からあてはまる番号をすべて選び、○は別紙回答票にご記入ください。(○はいくつでも可)
----	--

「差別されない、平等であること」が最も多く27.1%、次いで「個人として尊重されること」が24.2%などとなっています。



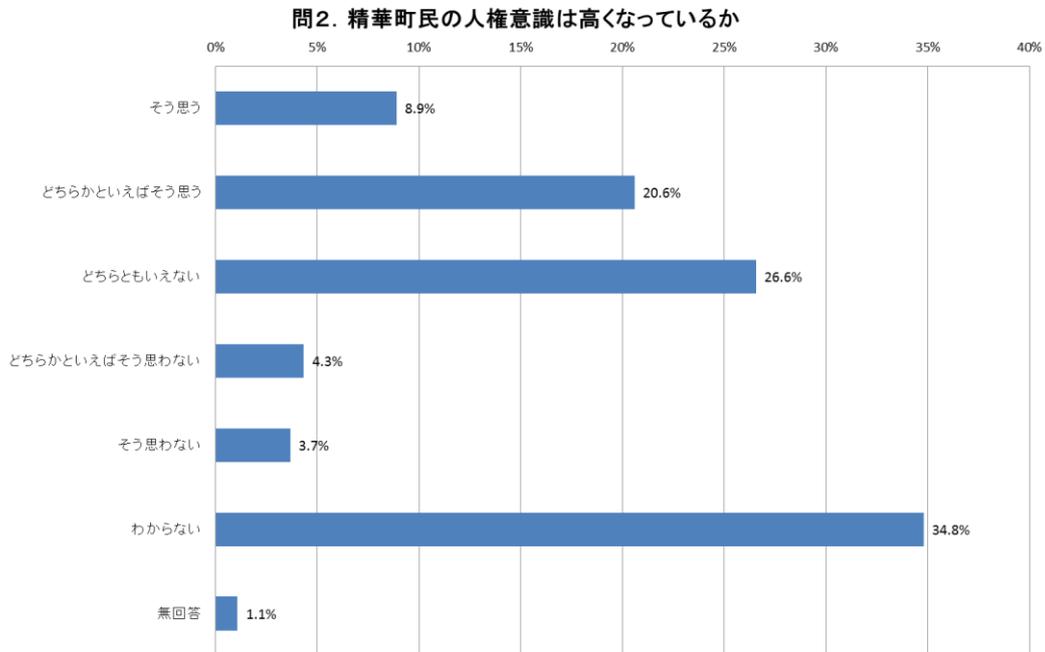
[京都府との比較]

精華町、京都府ともに「差別されない、平等であること」が最も多く、次いで「個人として尊重されること」などとなっています。



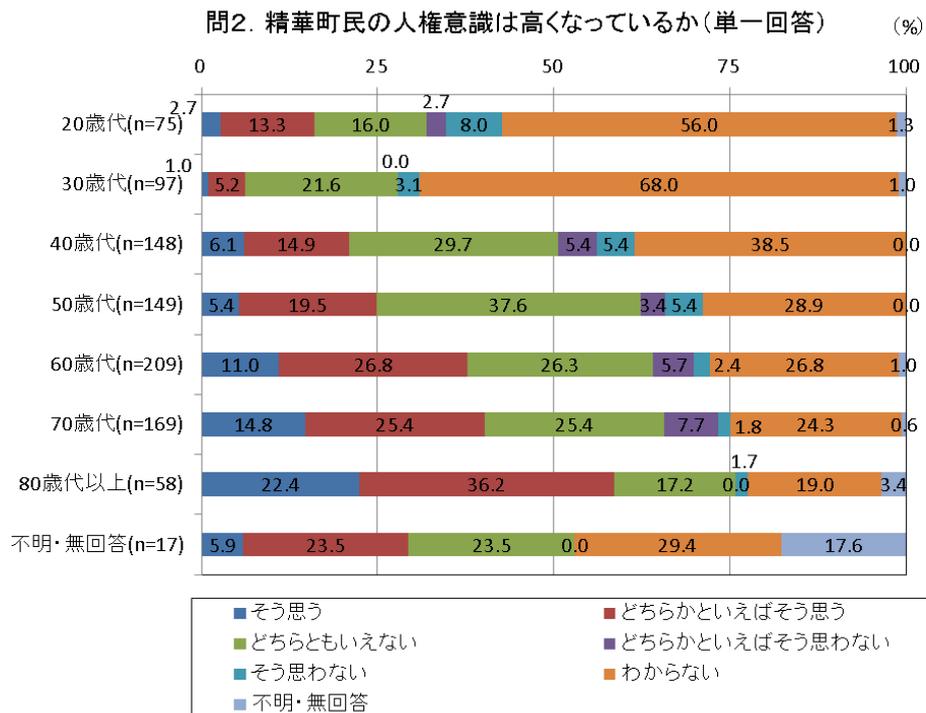
問2 あなたは、「精華町民一人ひとりの人権意識は、10年前と比べて高くなっている」と思いますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

「わからない」が最も多く34.8%、次いで「どちらともいえない」が26.6%などとなっています。



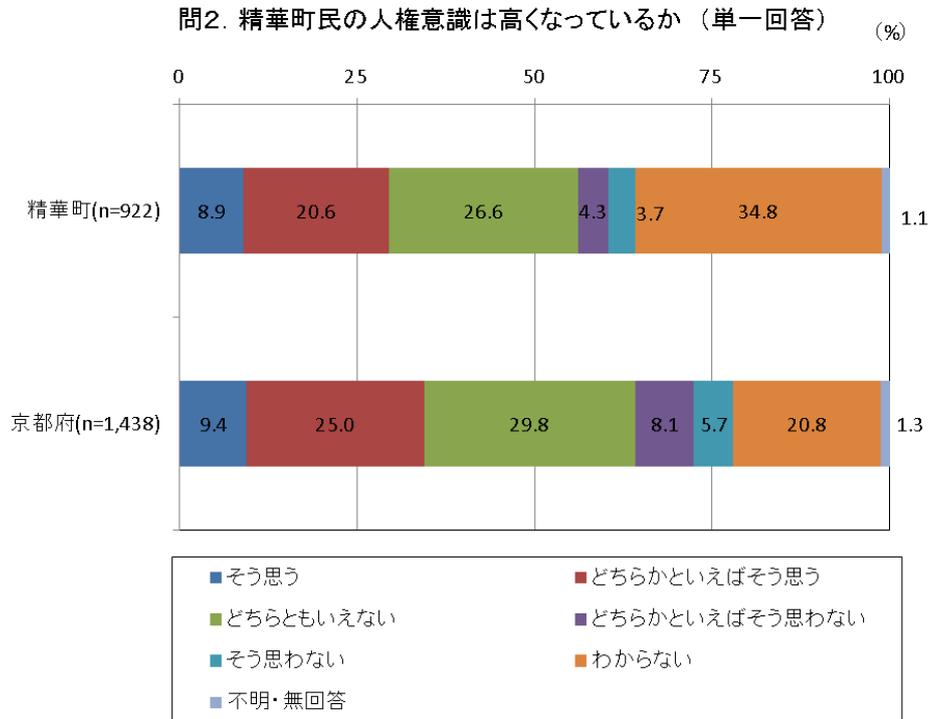
[年代別]

60歳代以上で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が多くなっています。



[京都府との比較]

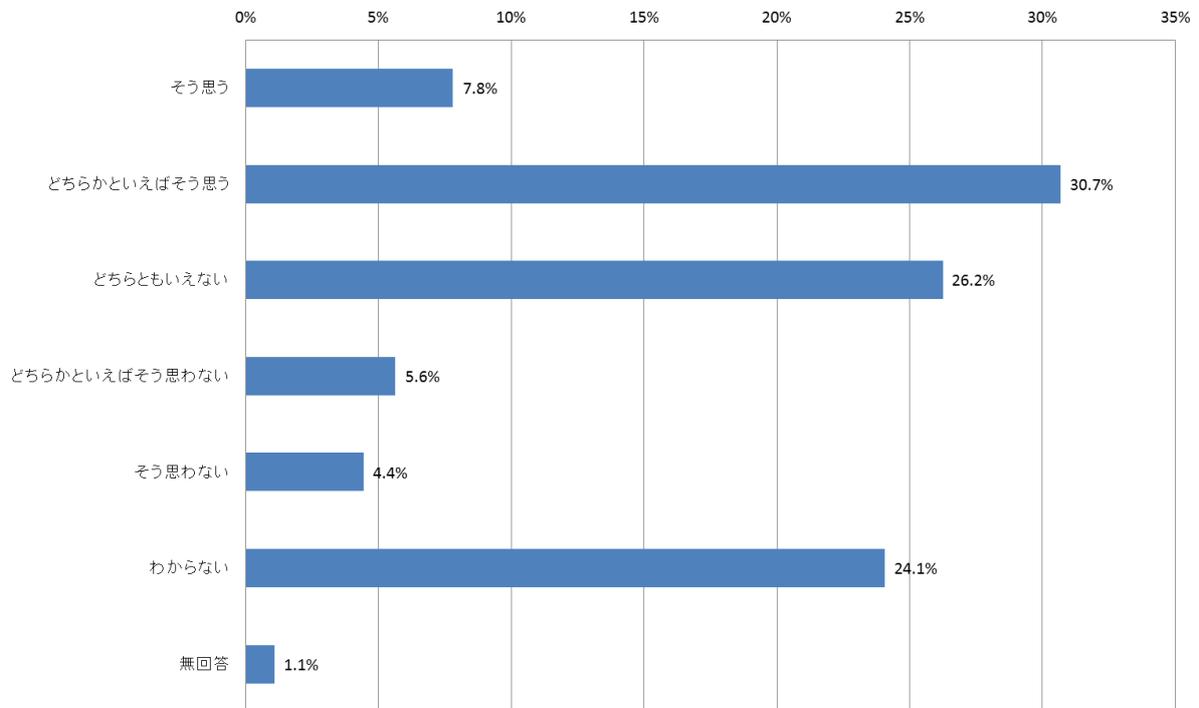
精華町は京都府よりも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が少なくなっています。



問3 あなたは、「精華町は、人権が尊重された豊かな社会になっている」と思いますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

「どちらかといえばそう思う」が最も多く 30.7%、次いで「どちらともいえない」が 26.2%などとなっています。

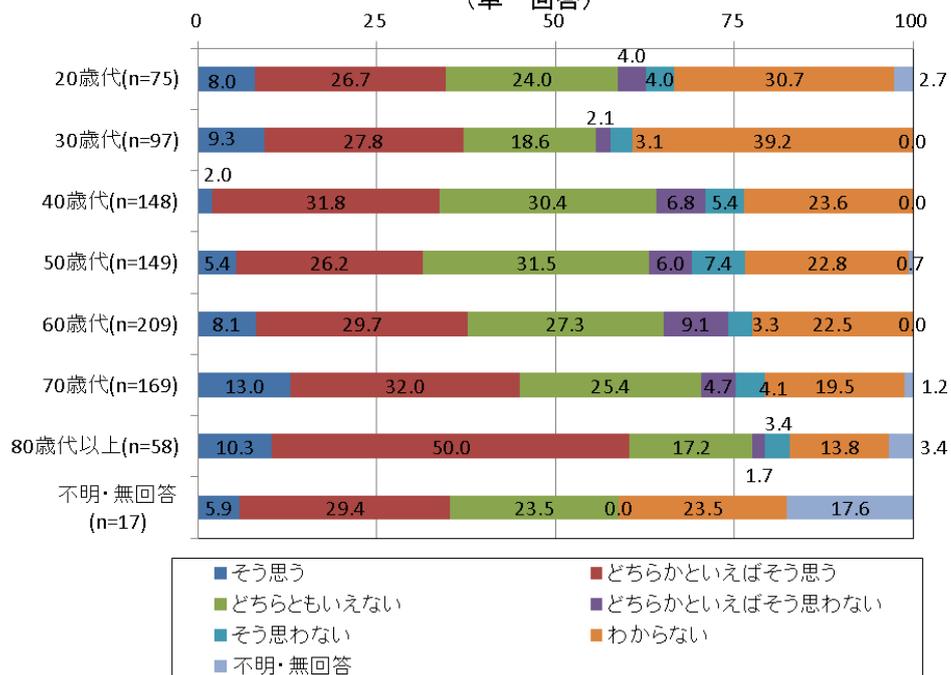
問3. 精華町は人権が尊重された豊かな社会になっているか



[年代別]

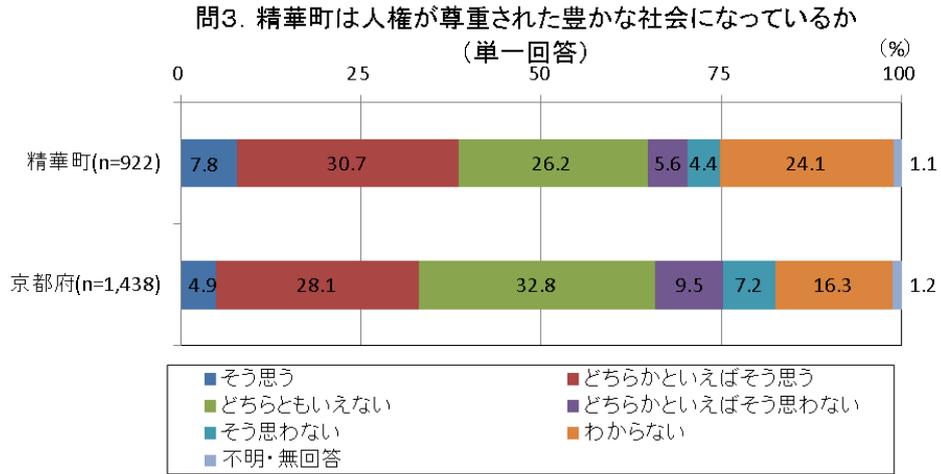
70歳代以上で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が多くなっています。

問3. 精華町は人権が尊重された豊かな社会になっているか (単一回答)



[京都府との比較]

精華町は京都府よりも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が多くなっています。

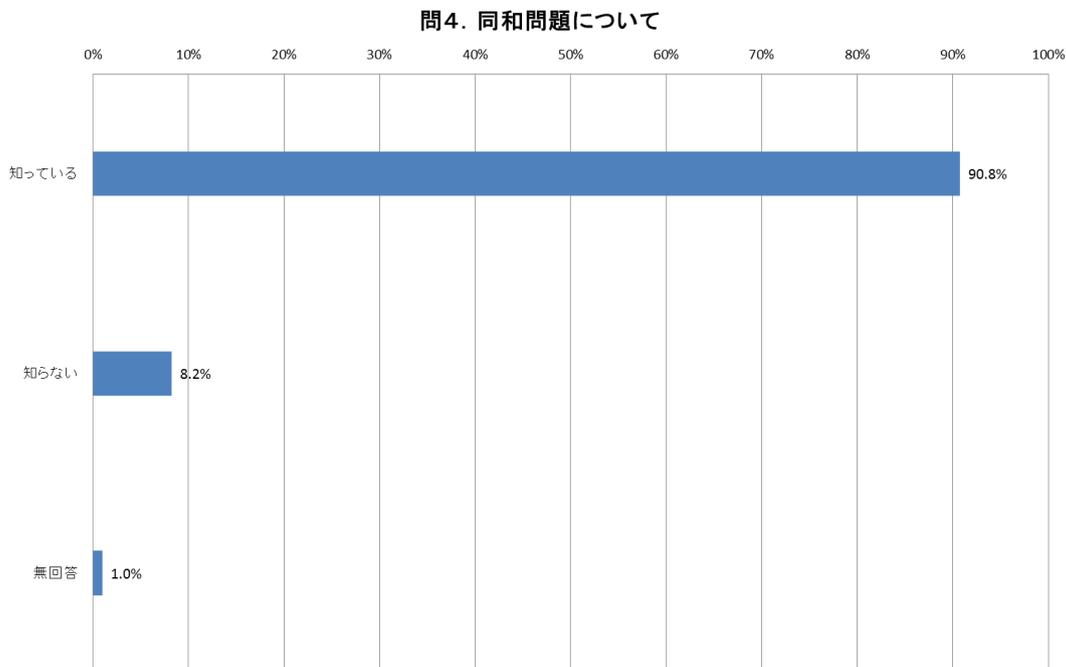


2. 同和問題について

問4

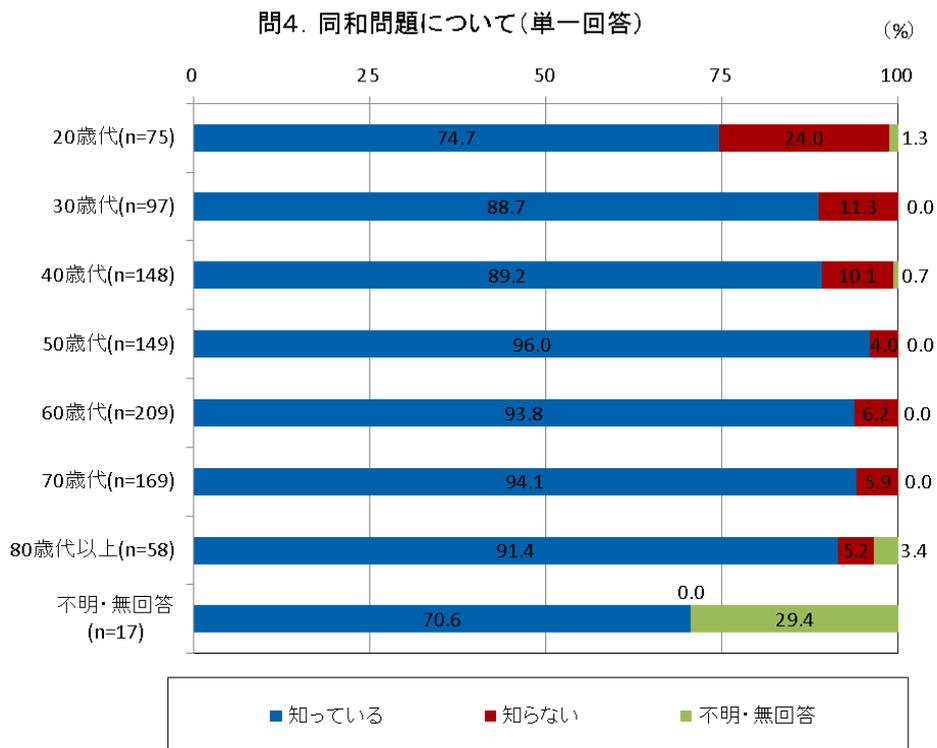
あなたは、同和問題について知っていますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票にご記入のうえ、指定された方へお進みください。

「知っている」が90.8%、「知らない」が8.2%となっています。



[年代別]

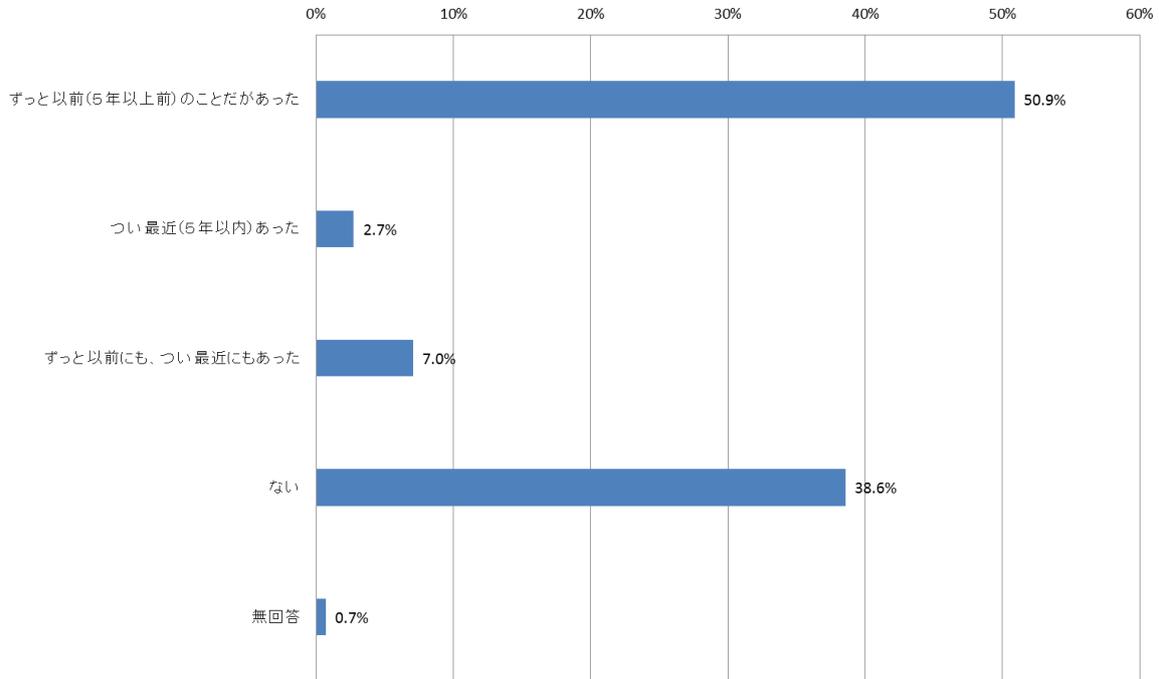
20歳代で「知らない」が他の年代よりも多くなっています。



問5 あなたは、家庭・職場・学校・地域などで部落差別が起こったのを見たり聞いたりしたことがありますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

「ずっと以前（5年以上前）のことだがあった」が50.9%、次いで「ない」が38.6%などとなっています

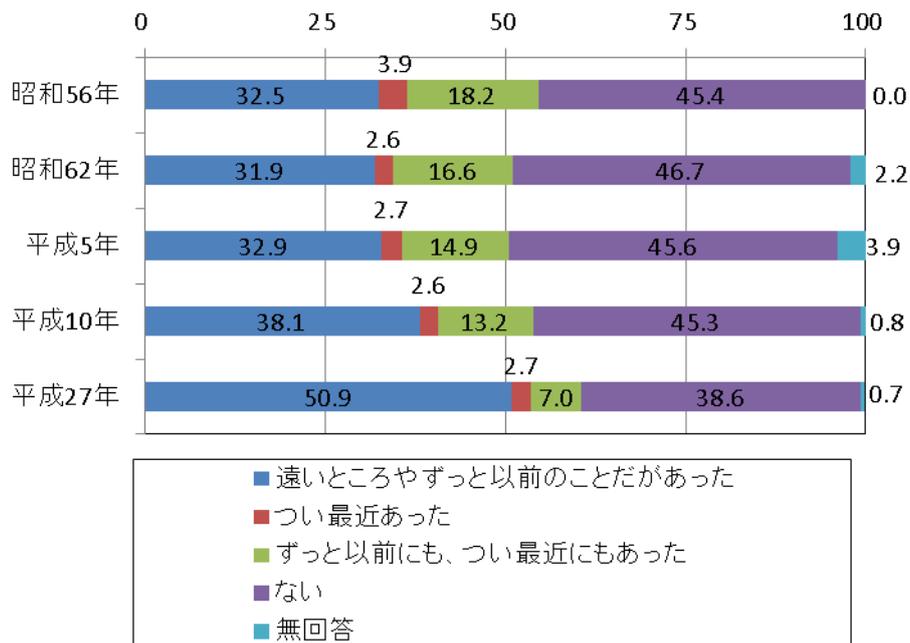
問5. 部落差別を見聞きしたことがあるか(問4で「知っている」と答えた人)



[経年比較]

「遠いところやずっと以前ののことだがあった」が増加し、「ずっと以前にも、つい最近にもあった」が減少しています。

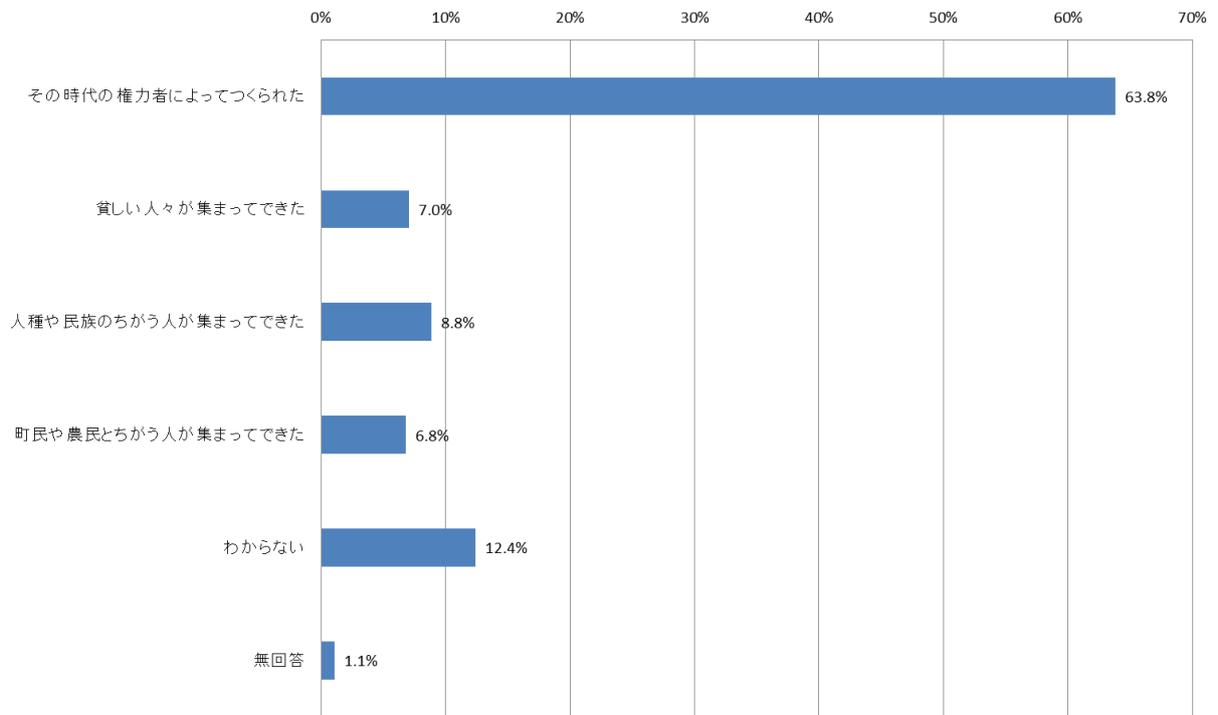
問5. 部落差別を見聞きしたことがあるか(単一回答) (%)



問6 同和地区は、どうして出来たと思いますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください

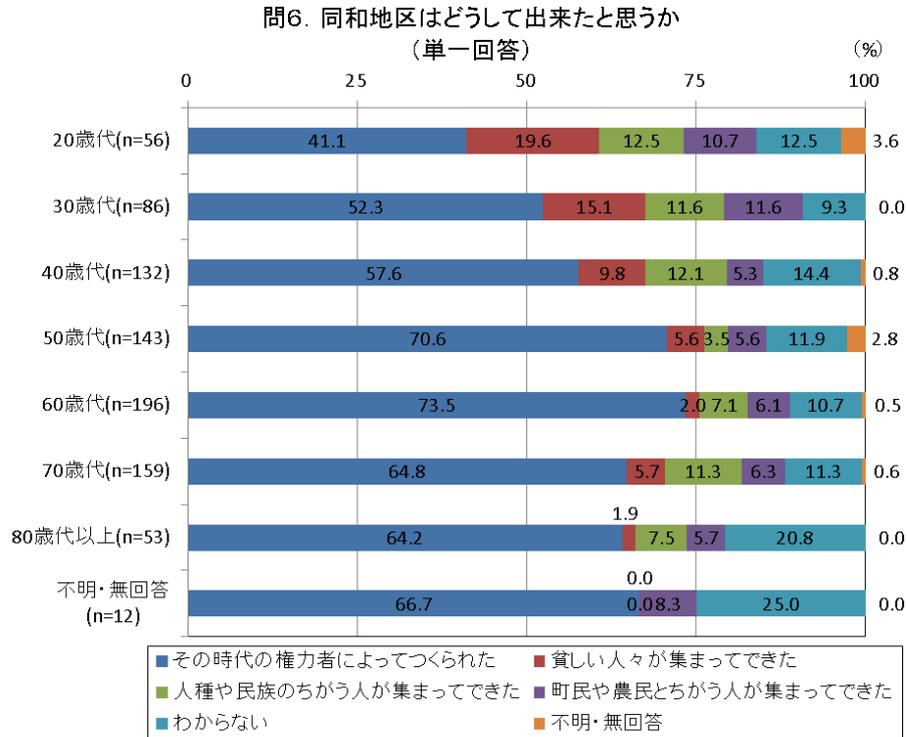
「その時代の権力者によってつくられた」が最も多く 63.8%、次いで「わからない」が 12.4%などとなっています。

問6. 同和地区はどうして出来たと思うか(問4で「知っている」と答えた人)



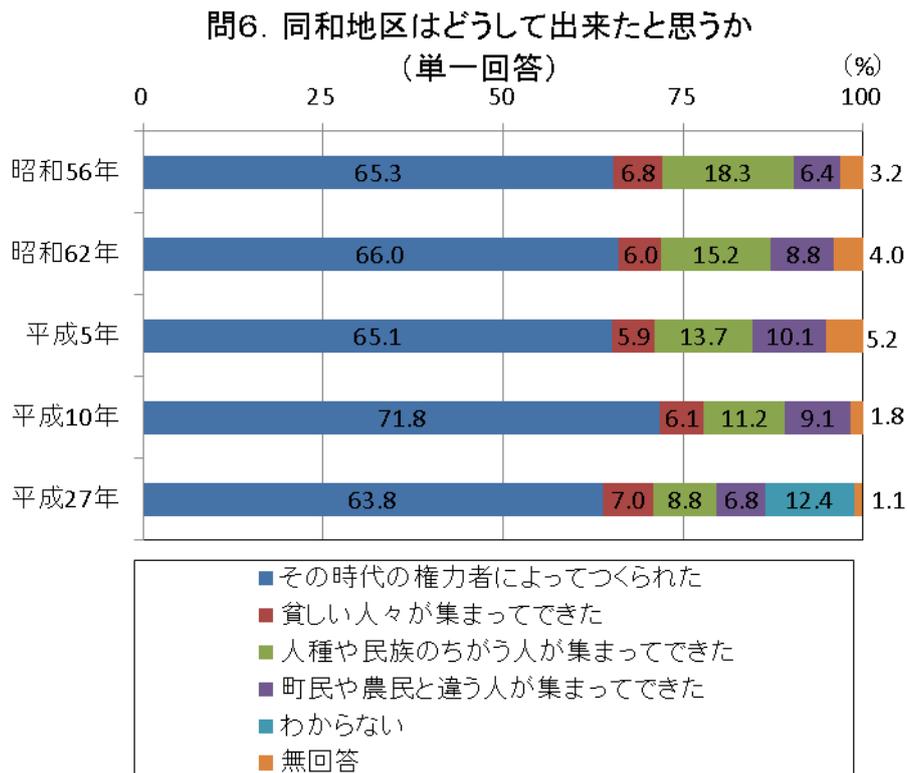
[年代別]

20 歳代で「その時代の権力者によってつくられた」が少なく、「貧しい人々が集まってできた」が多く
なっています。



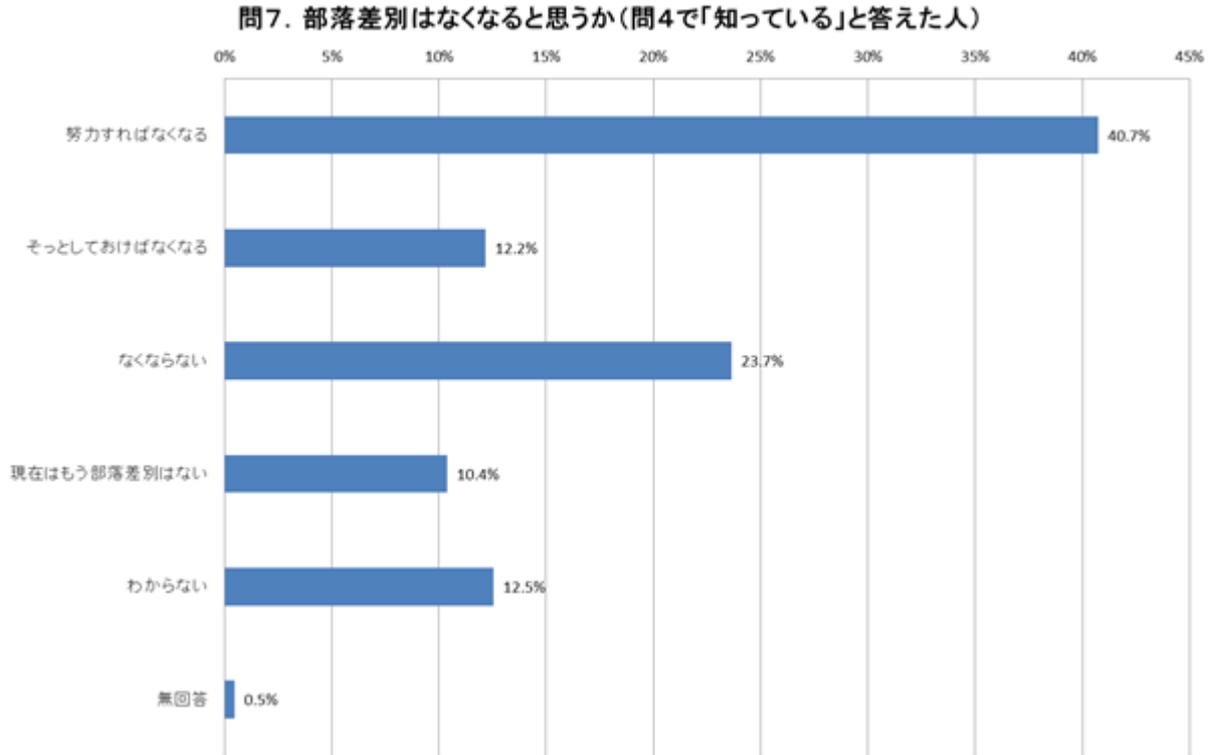
[経年比較]

「その時代の権力者によって作られた」が平成27年は過去の調査よりも減少しています。



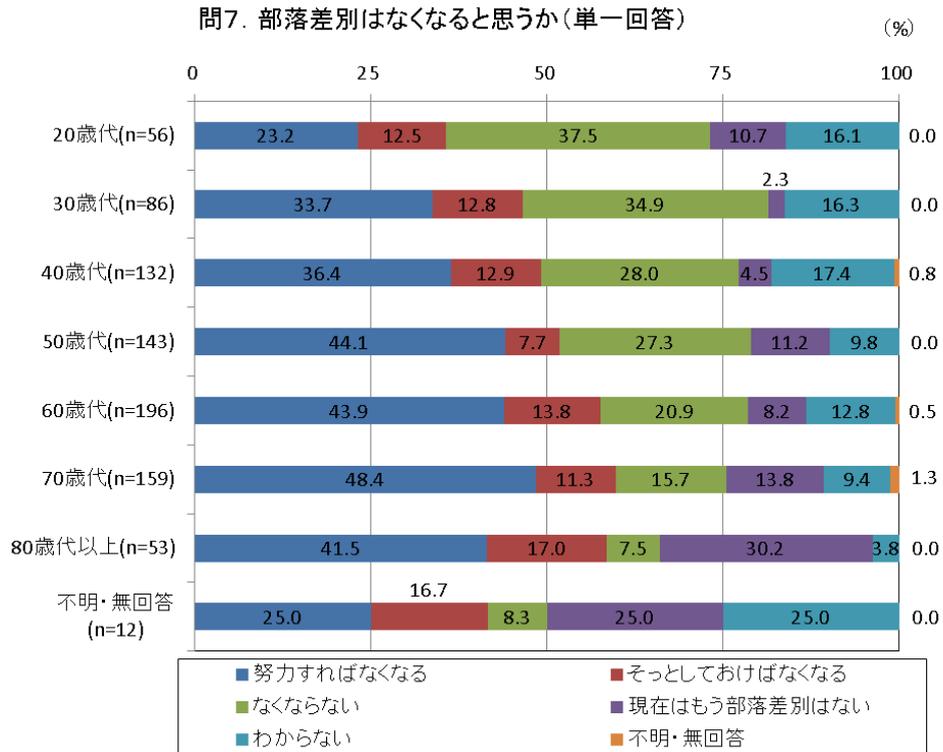
問7 部落差別は、なくなると思いませんか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

「努力すればなくなる」が最も多く 40.7%、次いで「なくなるしない」が 23.7%などとなっています。



[年代別]

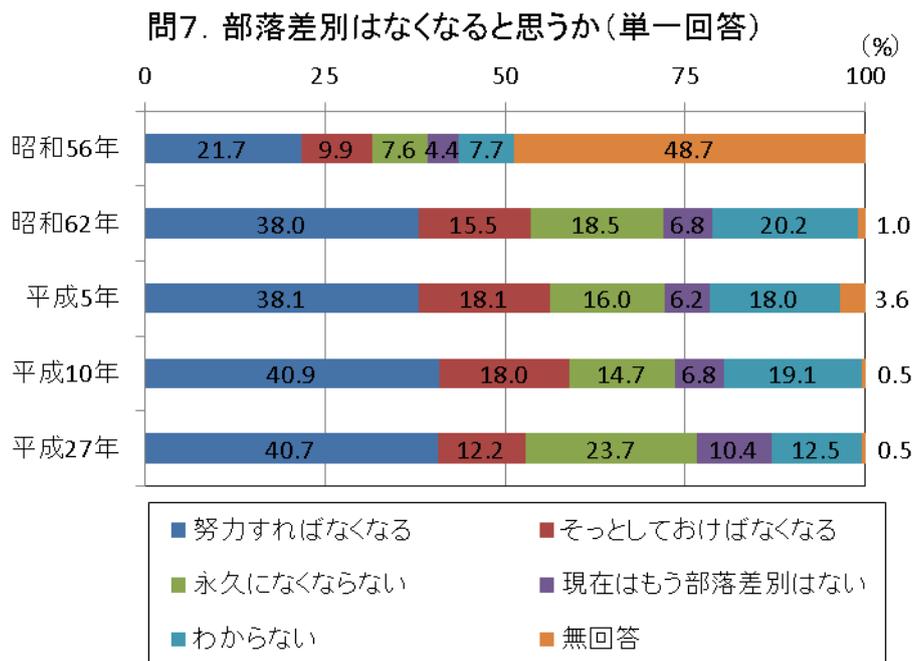
20歳代、30歳代で「なくならい」が他の年代よりも多く、「70歳代」で「努力すればなくなる」が多くなっています。



[経年比較]

「努力すればなくなる」が平成10年までは増加傾向にありましたが、平成10年から平成27年にかけては横ばいとなっています。

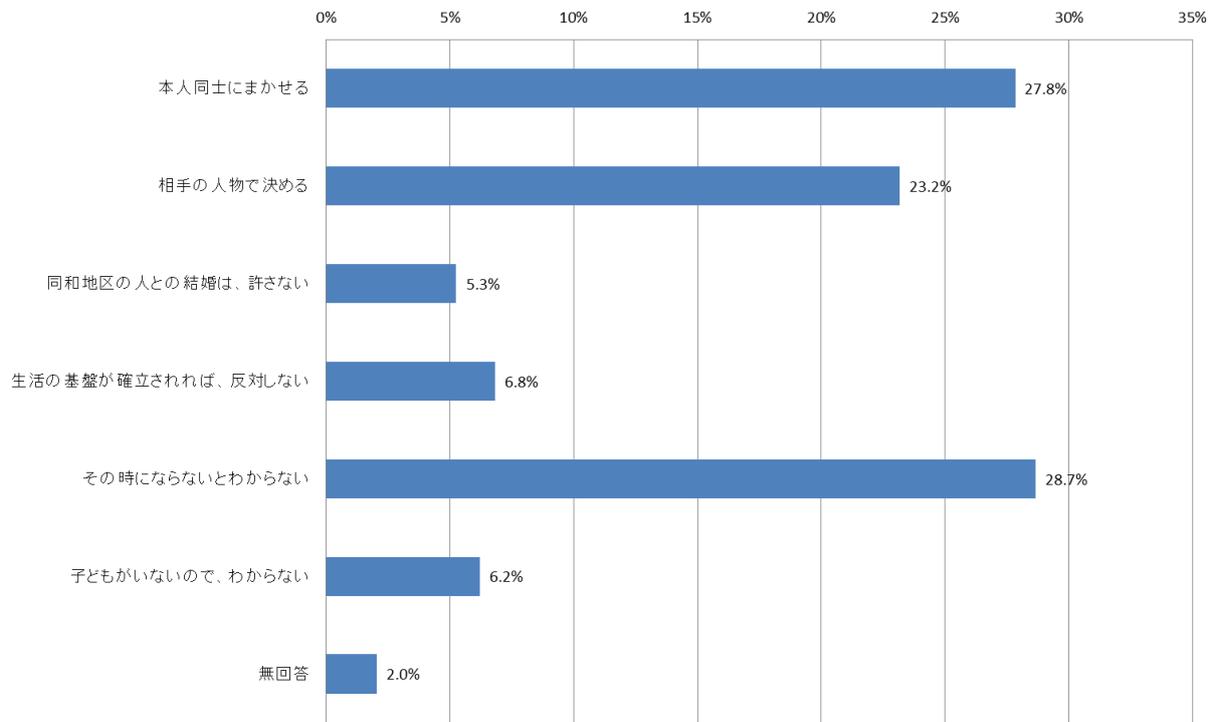
一方で、「永久になくなる」が平成10年から平成28年にかけて増加しています。



問8 もし、あなたのお子さんが同和地区出身の人との結婚を望んだ場合、どうしますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

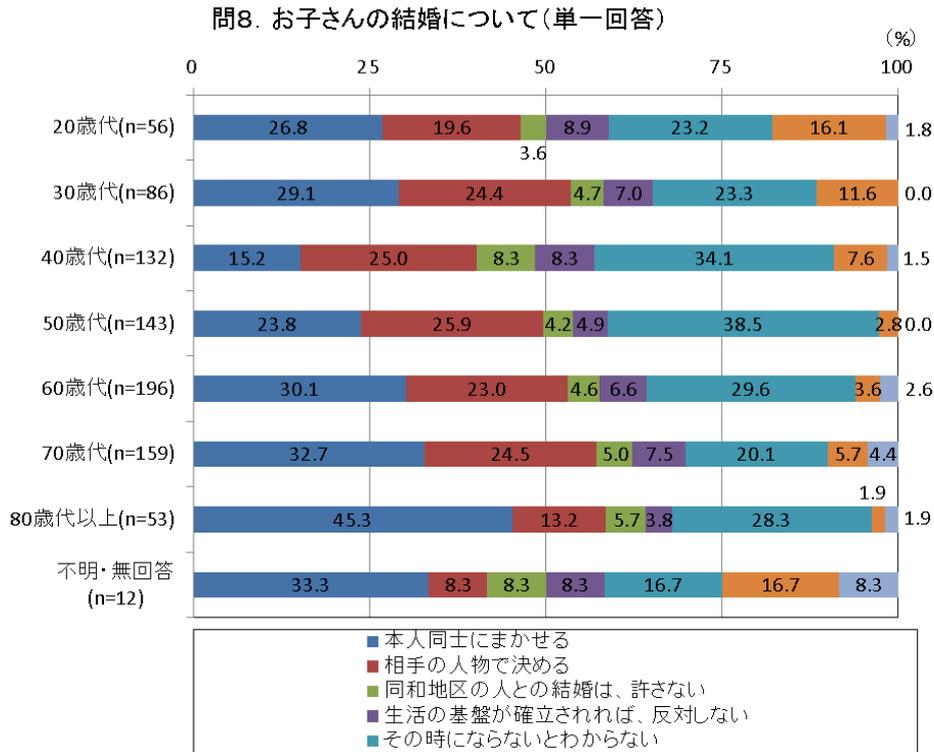
「その時にならないとわからない」が最も多く28.7%、次いで「本人同士にまかせる」が27.8%などとなっています。

問8. お子さんの結婚について(問4で「知っている」と答えた人)



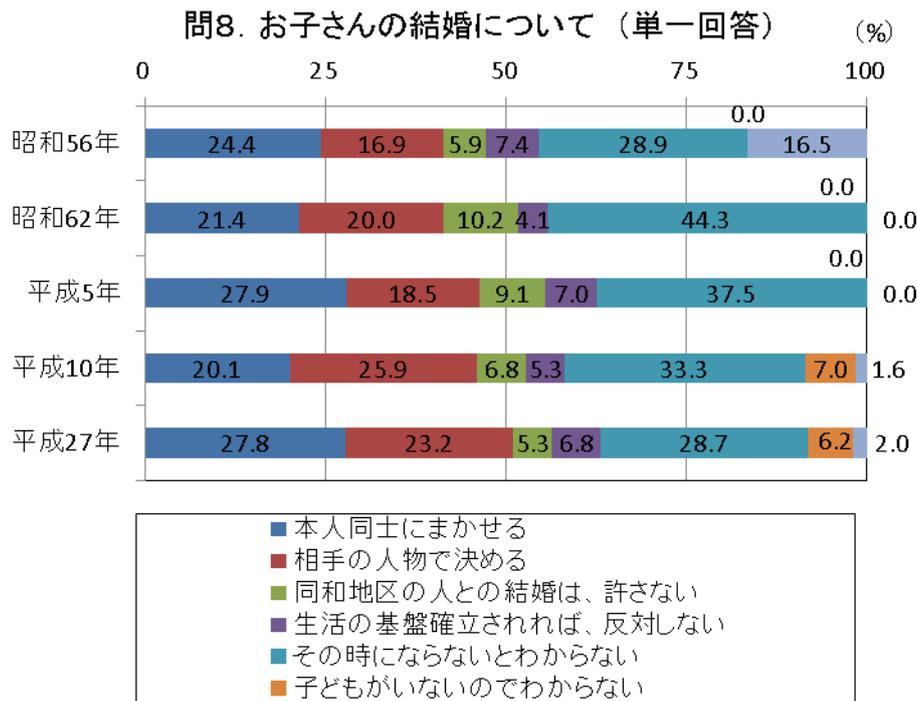
[年代別]

子どもの結婚に対しては80歳代以上で「本人同士にまかせる」が多くなっています。また、どの年代でも「同和地区の人との結婚は、許さない」が少なくなっているが、一定います。



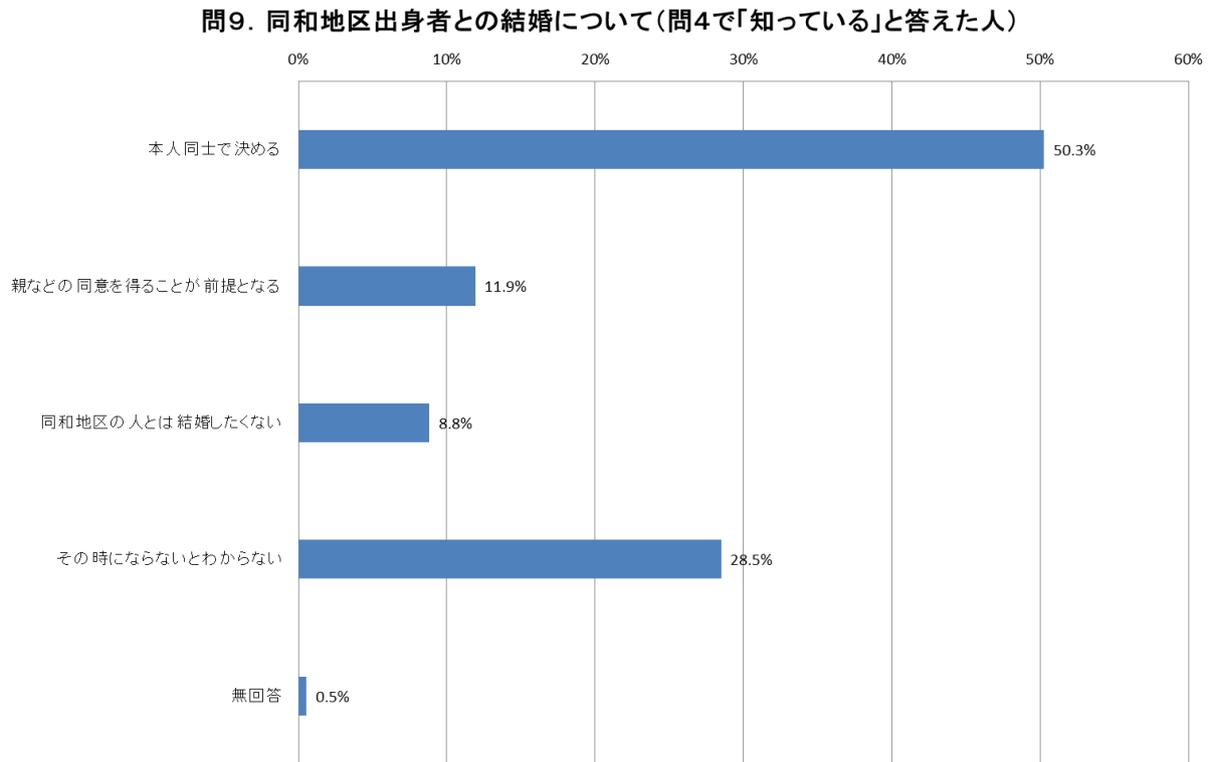
[経年比較]

子どもの結婚に対しては「同和地区の人との結婚は許さない」が減少傾向にあります。



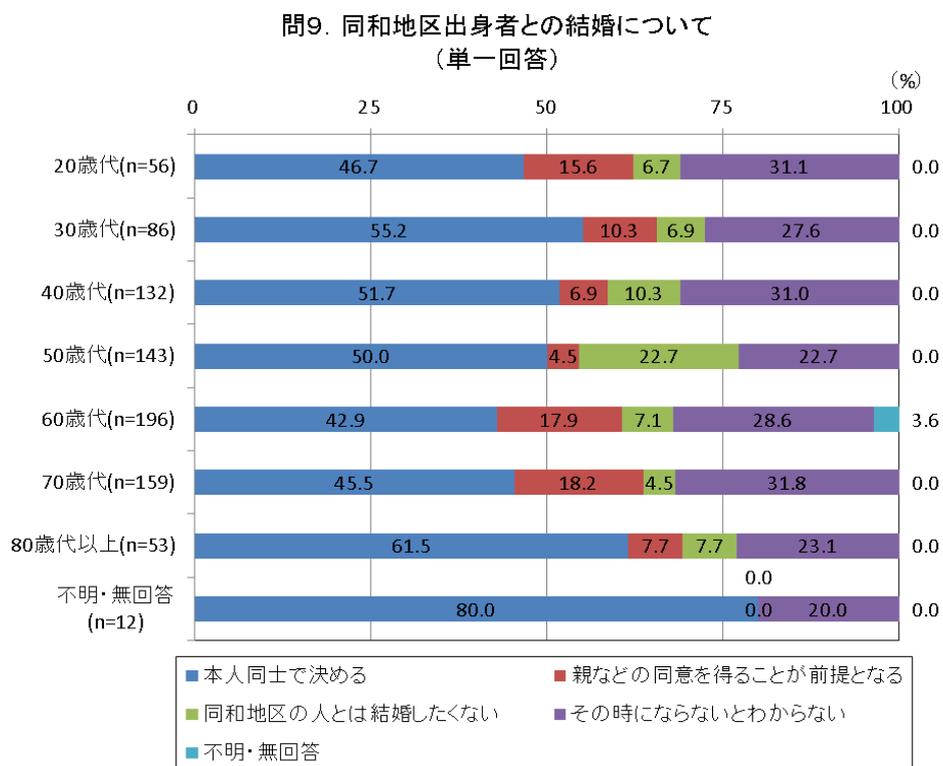
問9	未婚の方にお聞きします。あなた自身が結婚される場合、同和地区出身の人との結婚について、どのようにお考えになりますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。
----	--

「本人同士で決める」が最も多く 50.3%、次いで「その時にならないとわからない」が 28.5%などとなっています。



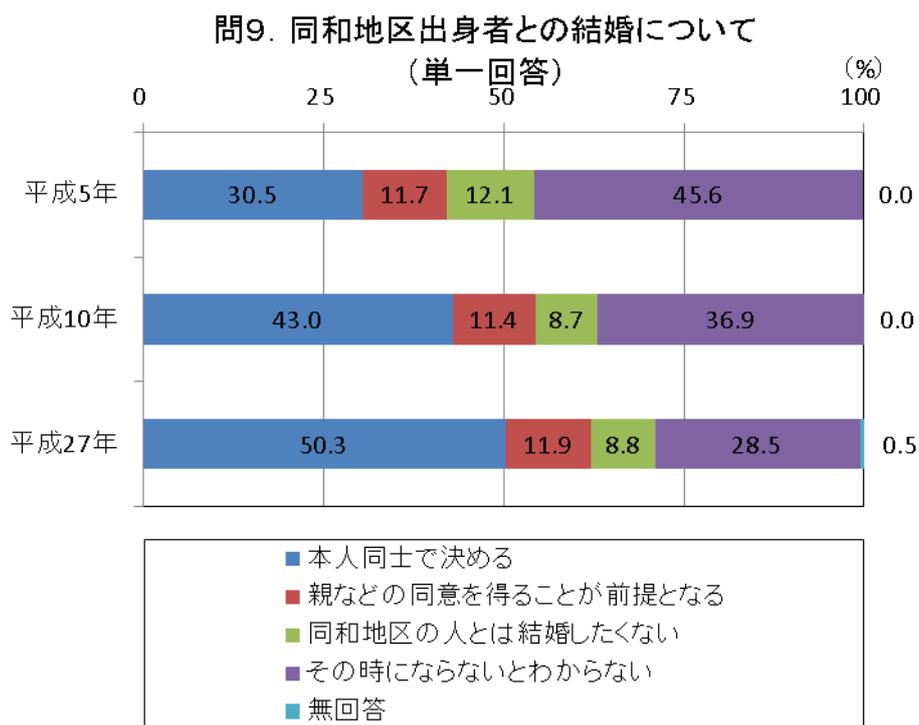
[年代別]

自分が結婚する場合については、20歳代、30歳代で「本人同士が決める」が多くなっています。一方で、「同和地区の人とは結婚したくない」が少なからずおり、50歳代で多くなっています。



[経年比較]

自身の結婚に対しては「本人同士で決める」が最も多く、増加しています。しかしながら、「同和地区の人とは結婚したくない」について、横ばいで推移しています。



3. さまざまな人権について

問10	あなたは、次にあげた人権が尊重されていると思いますか。A～Jの各事項について、あてはまる番号を1つずつ選び、回答票に○をつけてください。
-----	--

「尊重されている」では、「子どもの人権」が最も多く31.8%、次いで「高齢者の人権」が28.6%などとなっています。

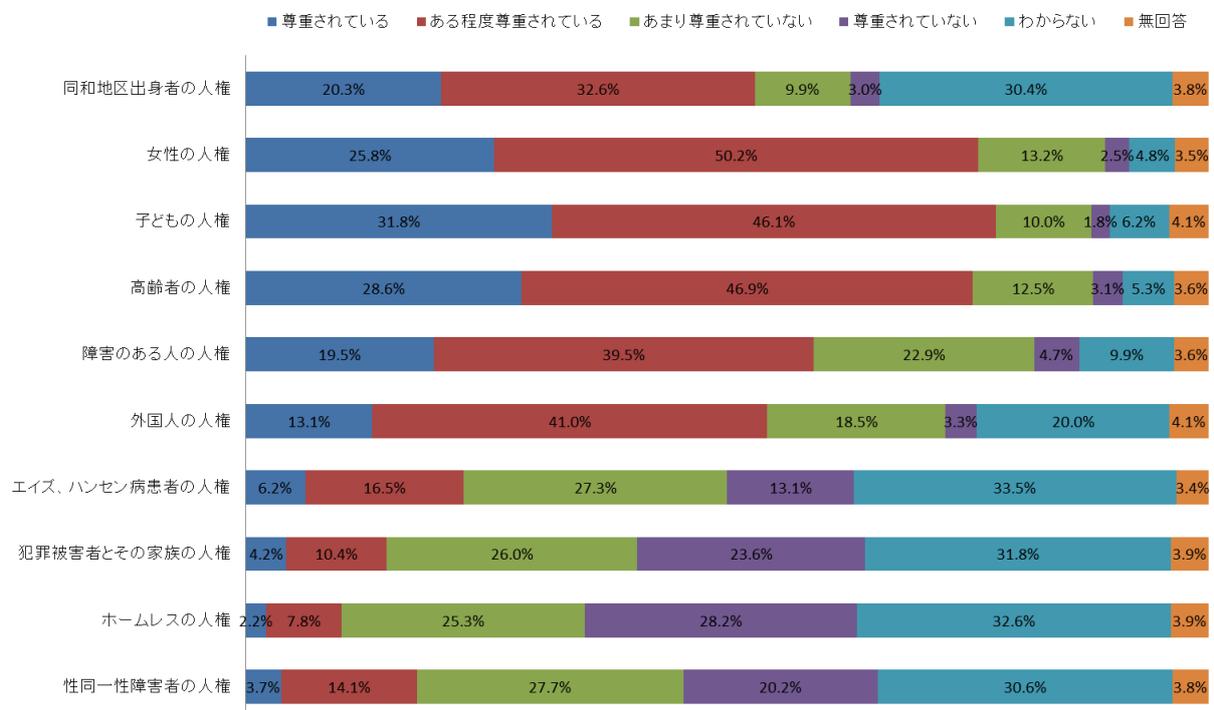
「ある程度尊重されている」では、「女性の人権」が最も多く50.2%、次いで「高齢者の人権」が46.9%などとなっています。

「あまり尊重されていない」では、「性同一性障害者の人権」が最も多く27.7%、次いで「エイズ、ハンセン病患者の人権」が27.3%などとなっています。

「尊重されていない」では、「ホームレスの人権」が最も多く28.2%、次いで「犯罪被害者とその家族の人権」が23.6%などとなっています。

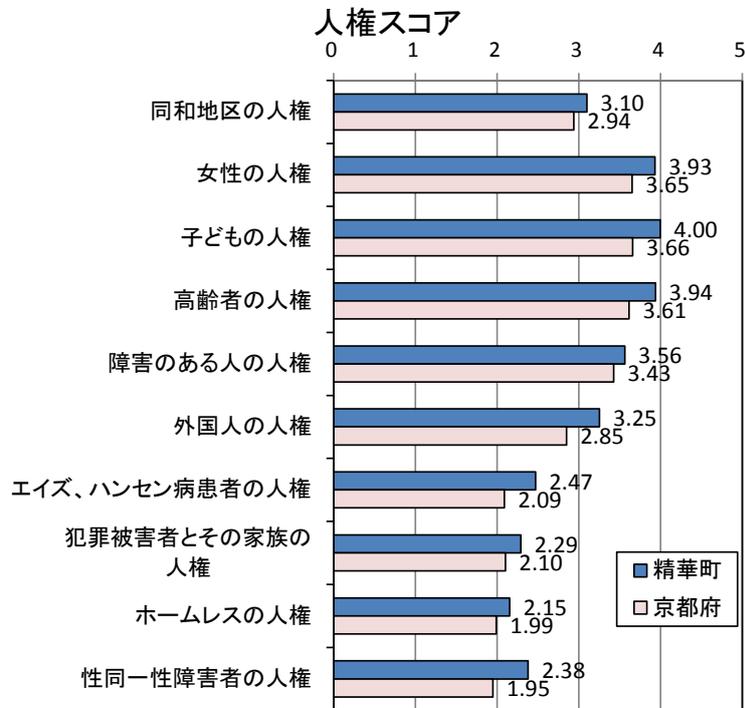
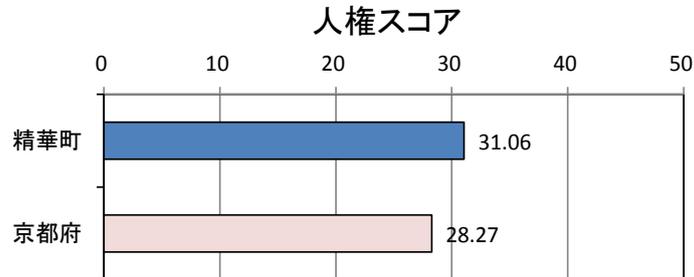
「わからない」では、「エイズ、ハンセン病患者の人権」が最も多く33.5%、次いで「ホームレスの人権」が32.6%などとなっています。

問10. さまざまな人権について



[人権スコア]

人権スコアの合計をみると、精華町は京都府よりも人権スコアが高くなっています。個々の領域では、「性同一性障害者の人権」「外国人の人権」「エイズ、ハンセン病患者の人権」が高くなっています。

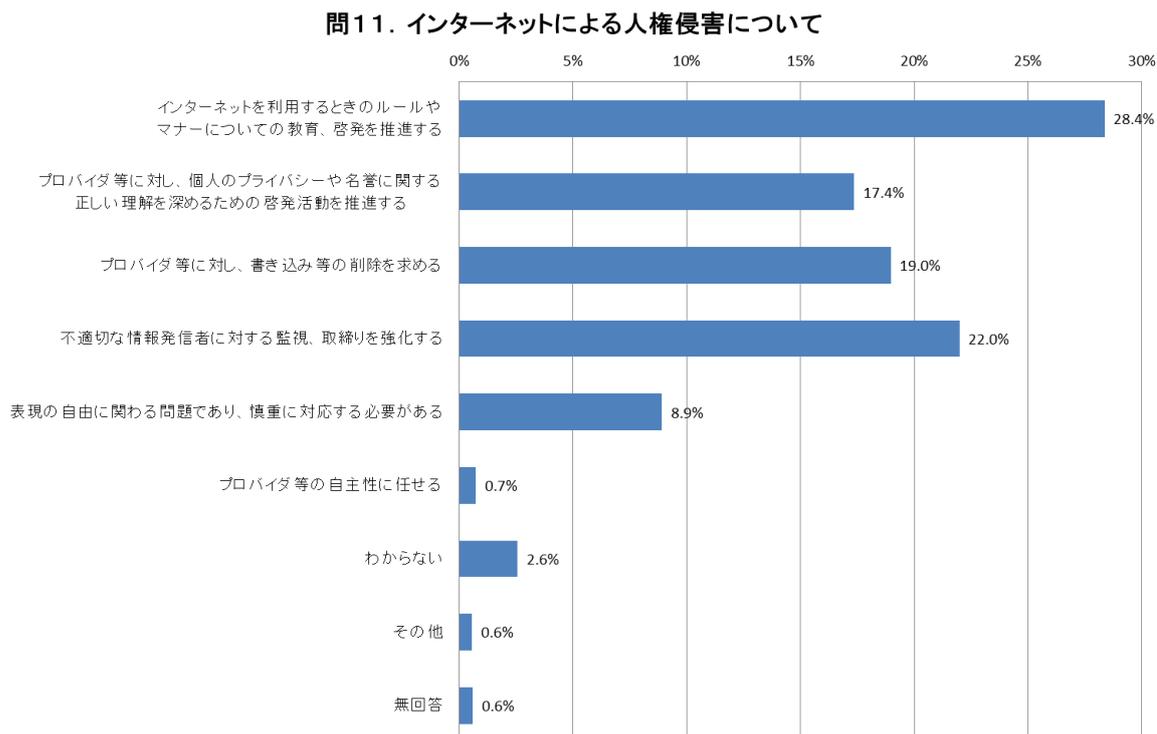


「尊重されている」5点、「ある程度尊重されている」4点「あまり尊重されていない」3点「尊重されていない」1点の加重を与え、平均値を計算。

4. インターネットによる人権侵害について

問 11	パソコンや携帯電話などを利用した差別的な書き込みや個人情報の漏えいなど、インターネットによる人権侵害を改善するためには、あなたはどうすればよいと思いますか。次の中からあてはまる番号をすべて選び、回答票に○をつけてください。(○はいくつでも可)
------	---

「インターネットを利用するときのルールやマナーについての教育、啓発を推進する」が最も多く 28.4%、次いで「不適切な情報発信者に対する監視、取締りを強化する」が 22.0%などとなっています。



[性別][年代別]

「インターネットを利用するときのルールやマナーについての教育、啓発を推進する」「プロバイダ等に対し、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための啓発活動を推進する」「プロバイダ等に対し、書き込み等の削除を求める」において年齢による違いがありました。

「インターネットを利用するときのルールやマナーについての教育、啓発を推進する」においては、80歳代以上で少なくなっています。

「プロバイダ等に対し、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための啓発活動を推進する」においては、20歳代が少なく、60歳代で多くなっています。

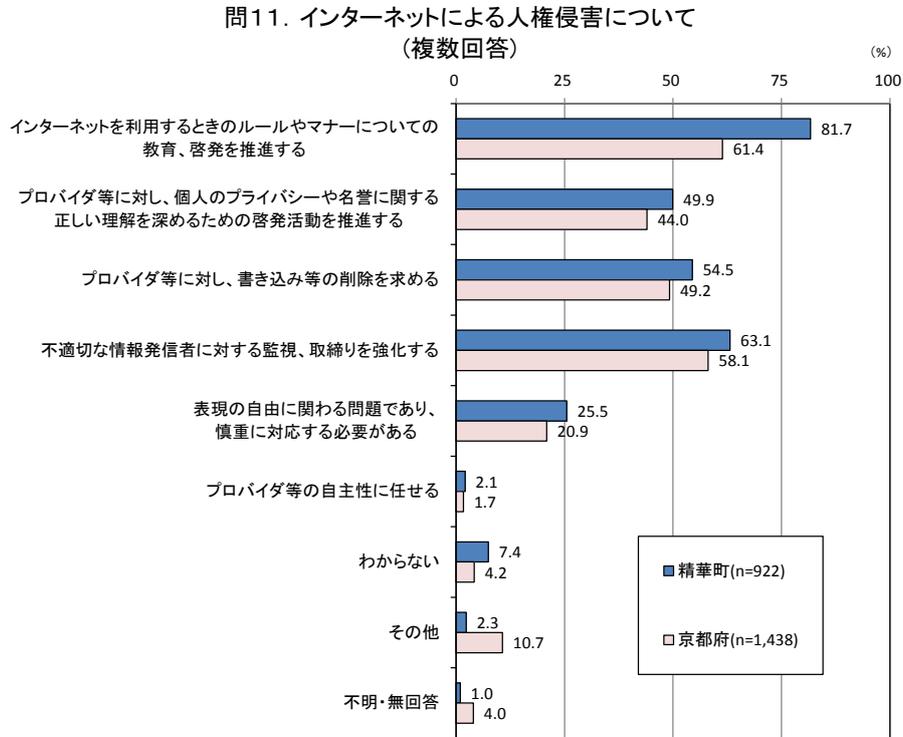
「プロバイダ等に対し、書き込み等の削除を求める」においては、20歳代、80歳代以上で少なくなっています。

問11 インターネットによる人権侵害について(複数回答)

	回答者数	比率(%)									計
		インターネットについての教育、啓発を推進する	啓発活動に関する正しい理解を深める	プロバイダ等に対する書き込み等の削除を	求める	プロバイダ等に対する書き込み等の削除を	不適切な情報発信者に対する監視、取締り	表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応する必要がある	プロバイダ等の自主性に任せる	わからない	
20歳代	(n=75)	74.7	29.3	32.0	42.7	33.3	4.0	2.7	2.7	1.3	222.7
30歳代	(n=97)	76.3	38.1	57.7	54.6	15.5	0.0	2.1	3.1	0.0	247.4
40歳代	(n=148)	75.0	37.8	53.4	59.5	20.9	0.0	2.0	2.0	0.0	250.7
50歳代	(n=149)	75.8	41.6	58.4	61.7	22.1	0.0	4.7	0.7	0.7	265.8
60歳代	(n=209)	75.1	56.5	47.8	60.8	22.0	2.4	4.8	1.9	0.5	271.8
70歳代	(n=169)	74.0	50.9	46.7	55.6	23.1	4.1	11.2	2.4	1.8	269.8
80歳代以上	(n=58)	46.6	39.7	29.3	46.6	27.6	3.4	25.9	3.4	6.9	229.3
不明・無回答	(n=17)	35.3	29.4	23.5	23.5	23.5	0.0	17.6	0.0	23.5	176.5
計全体	(n=819)	81.7	49.9	54.5	63.1	25.5	2.1	7.4	2.3	1.0	287.5

[京都府との比較]

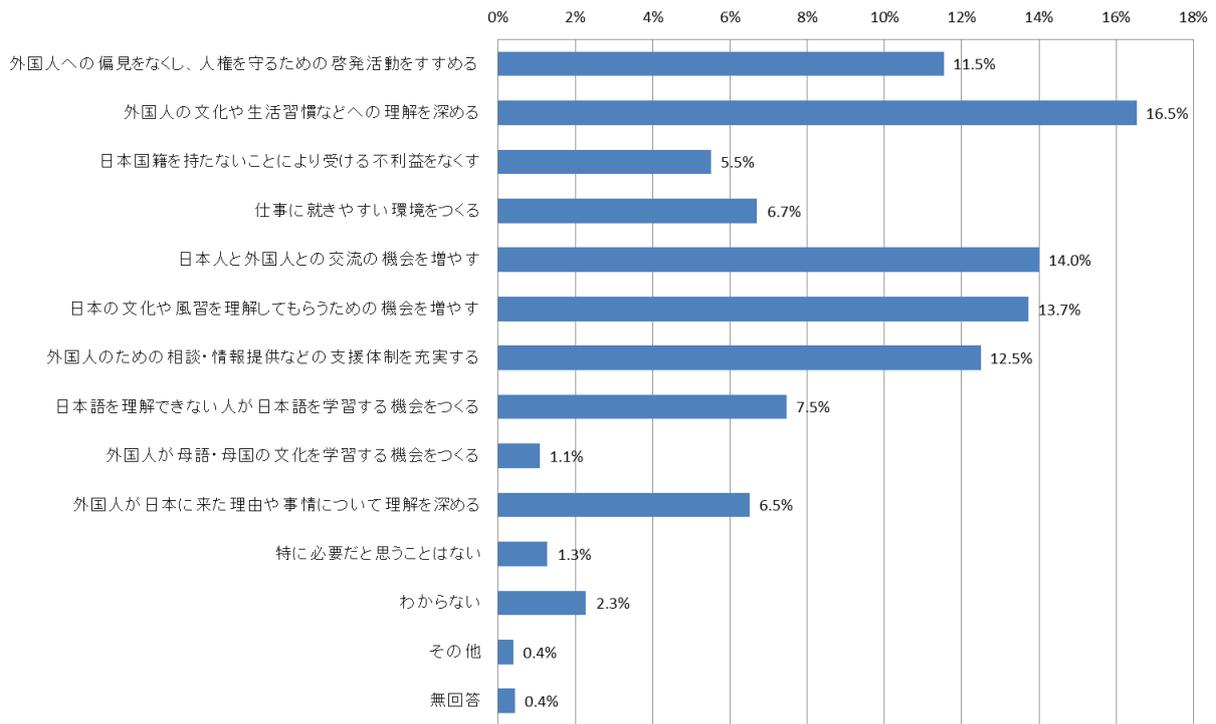
精華町は京都府よりも「インターネットを利用するときのルールやマナーについての教育、啓発を推進する」が高くなっています。



問 12 外国人を排斥する趣旨の言動(ヘイトスピーチなど)が公然とされたり、外国人であることを理由に賃貸住宅への入居機会が制約されたりする状況がありますが、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から特に必要と思われる番号を3つまで選び、回答票に○をつけてください。

「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」が最も多く16.5%、次いで「日本人と外国人との交流の機会を増やす」が14.0%などとなっています。

問12. 外国人の人権について



5. 人権に関する法律や行政の取り組みについて

問13 あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条例、制度を知っていますか。A～Vの各事項について、あてはまる番号を1つずつ選び、回答票に○をつけてください。

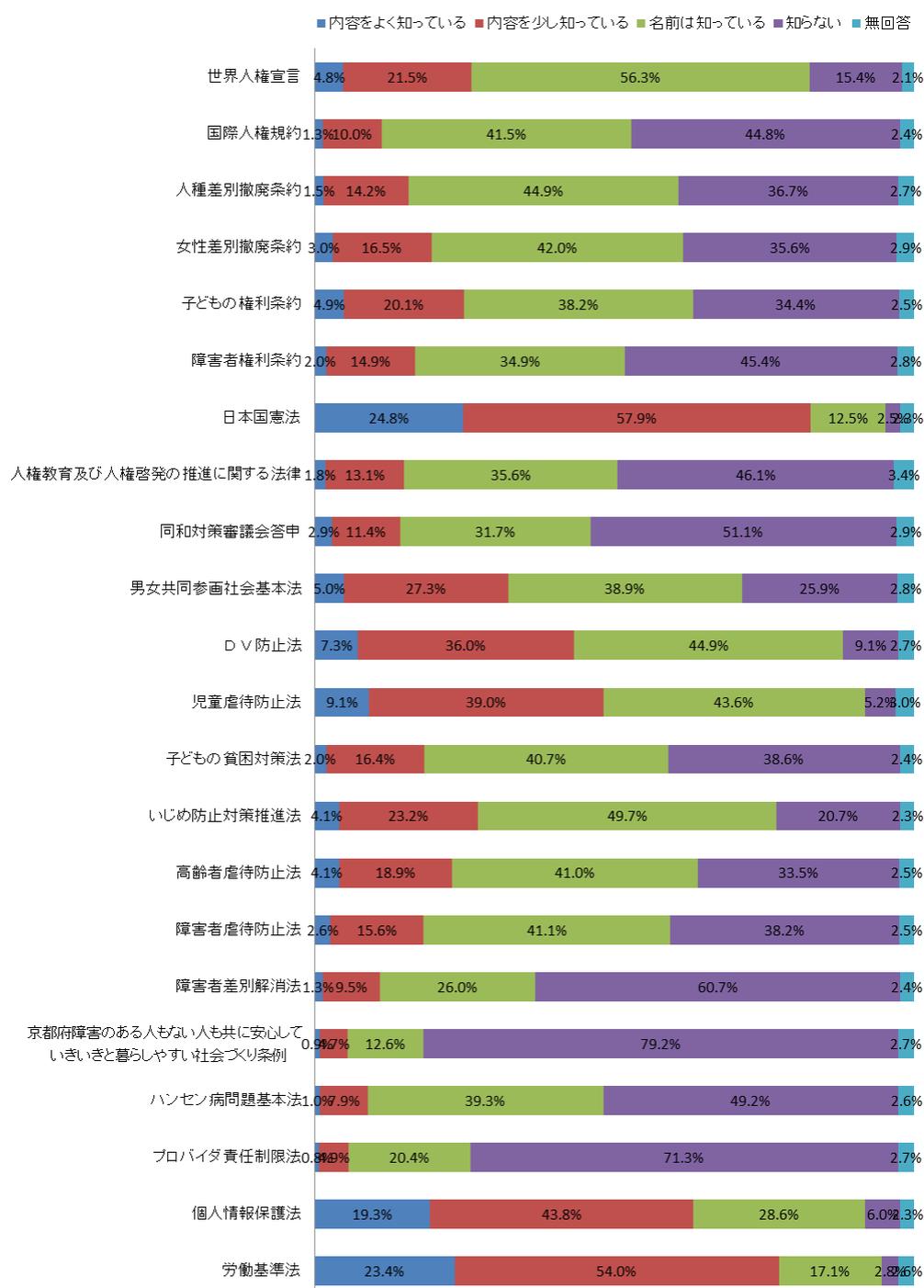
「内容をよく知っている」では、「日本国憲法」が最も多く24.8%、次いで「労働基準法」が23.4%などとなっています。

「内容を少し知っている」では、「日本国憲法」が最も多く57.9%、次いで「労働基準法」が54.0%などとなっています。

「名前は知っている」では、「世界人権宣言」が最も多く56.3%、次いで「いじめ防止対策推進法」が49.7%などとなっています。

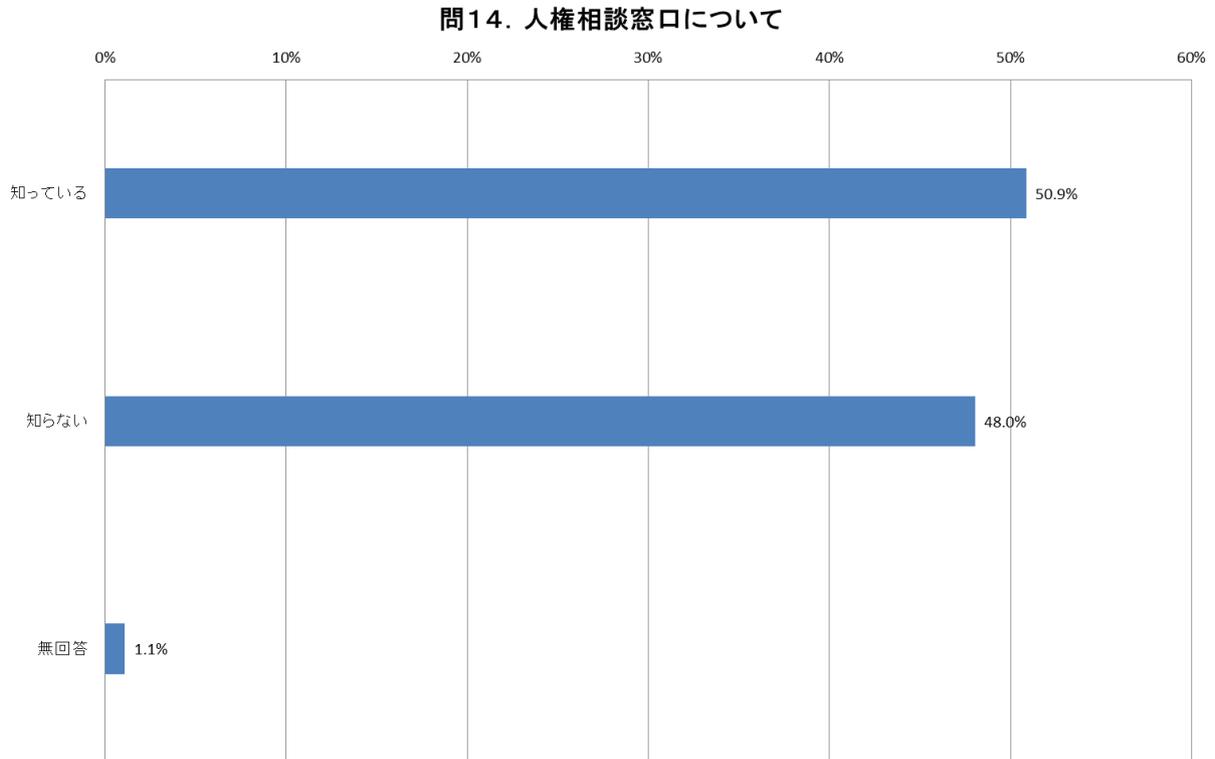
「知らない」では、「京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例」が最も多く79.2%、次いで「プロバイダ責任制限法」が71.3%などとなっています。

問13 人権に関する条例、法律等



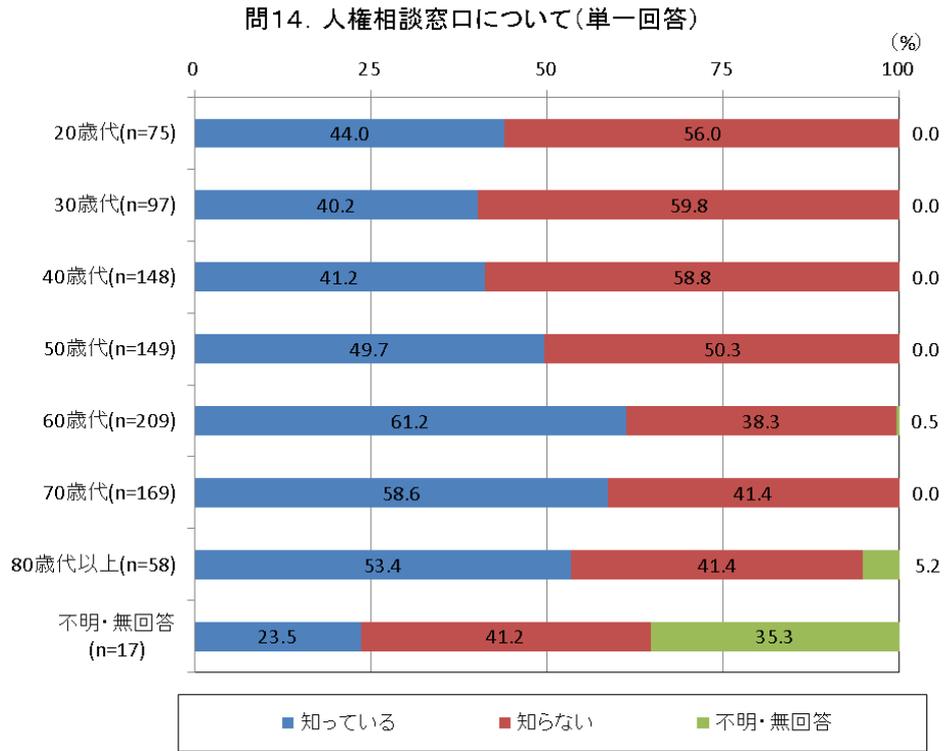
問 14 あなたは、人権に関する事柄で悩んだときなどの対応のため、国(法務局や人権擁護委員)をはじめ地方自治体(京都府や市町村)やNPO法人等の民間団体において人権相談の窓口が開かれているのをご存じですか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

「知っている」が50.9%、「知らない」が48.0%となっています。



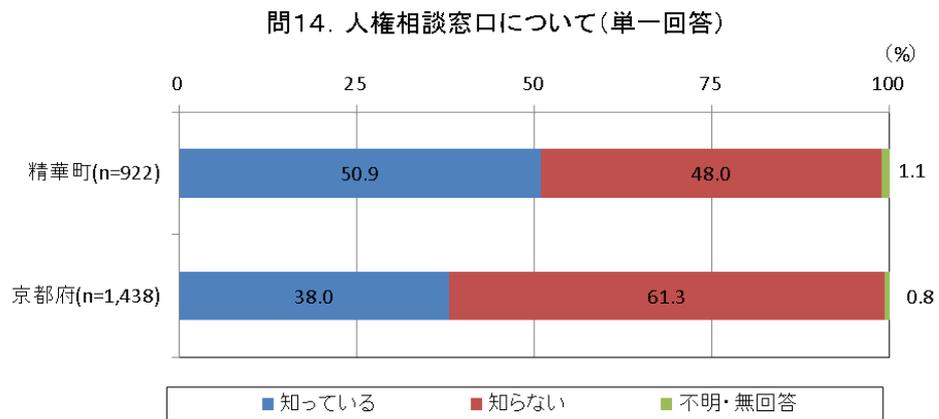
[年代別]

20 歳代、30 歳代、40 歳代において「知っている」が少なくなっています。



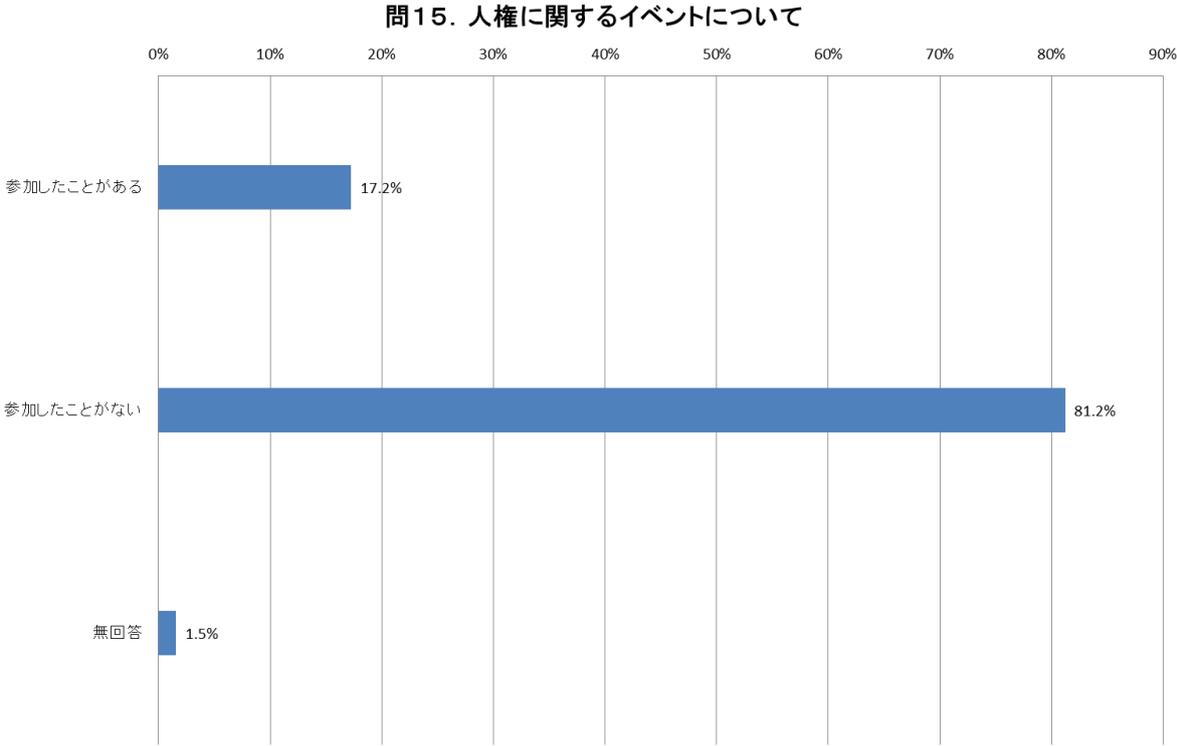
[京都府との比較]

精華町は京都府よりも「知っている」が多くなっています。



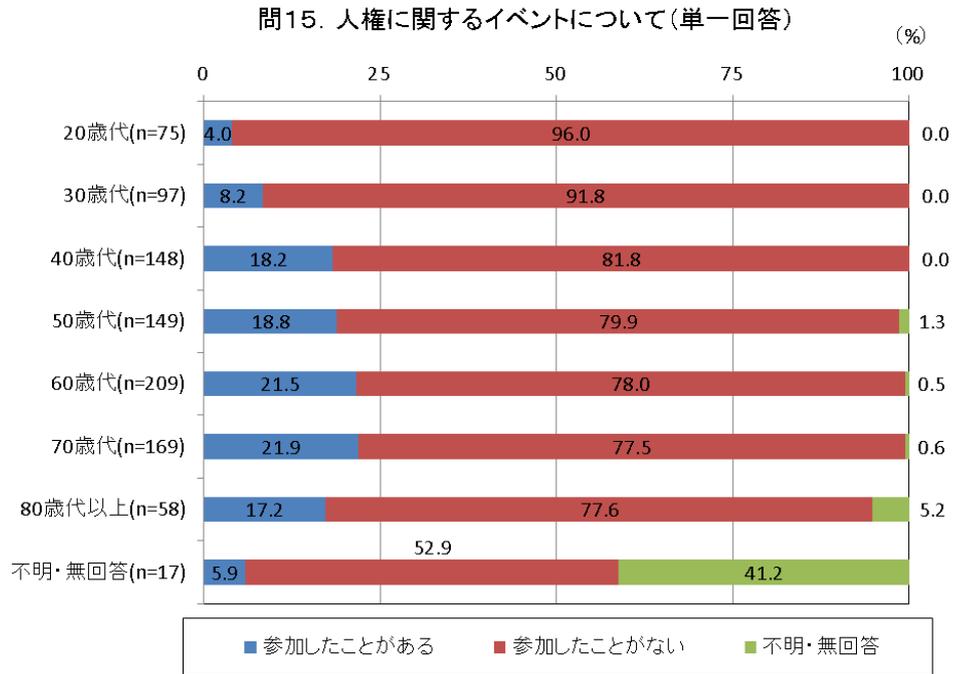
問 15 最近(過去5年間)、あなたは人権問題に関する研修会や講演会、啓発映画上映会(精華町人権シネマサロン)や人権フェスティバル(山城人権フェスタ)などの人権啓発に関するイベント等に参加されたことがありますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票にご記入のうえ、指定された方へお進みください。

「参加したことがある」が17.2%、「参加したことがない」が81.2%となっています。



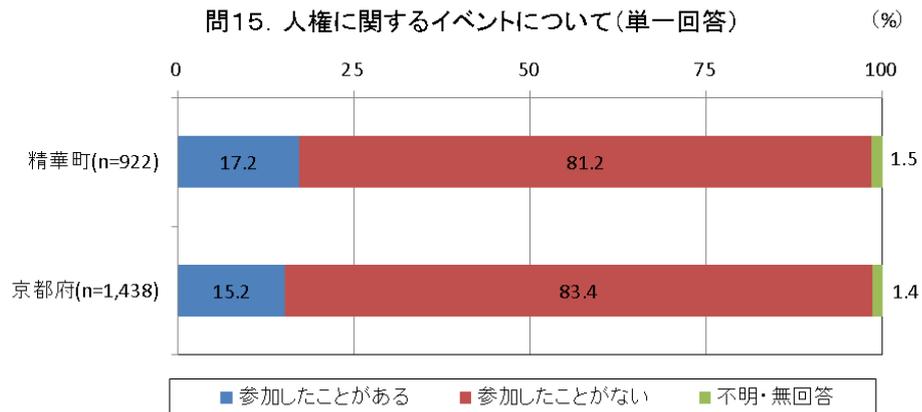
[年代別]

20 歳代、30 歳代において「参加したことがある」が少なくなっています。



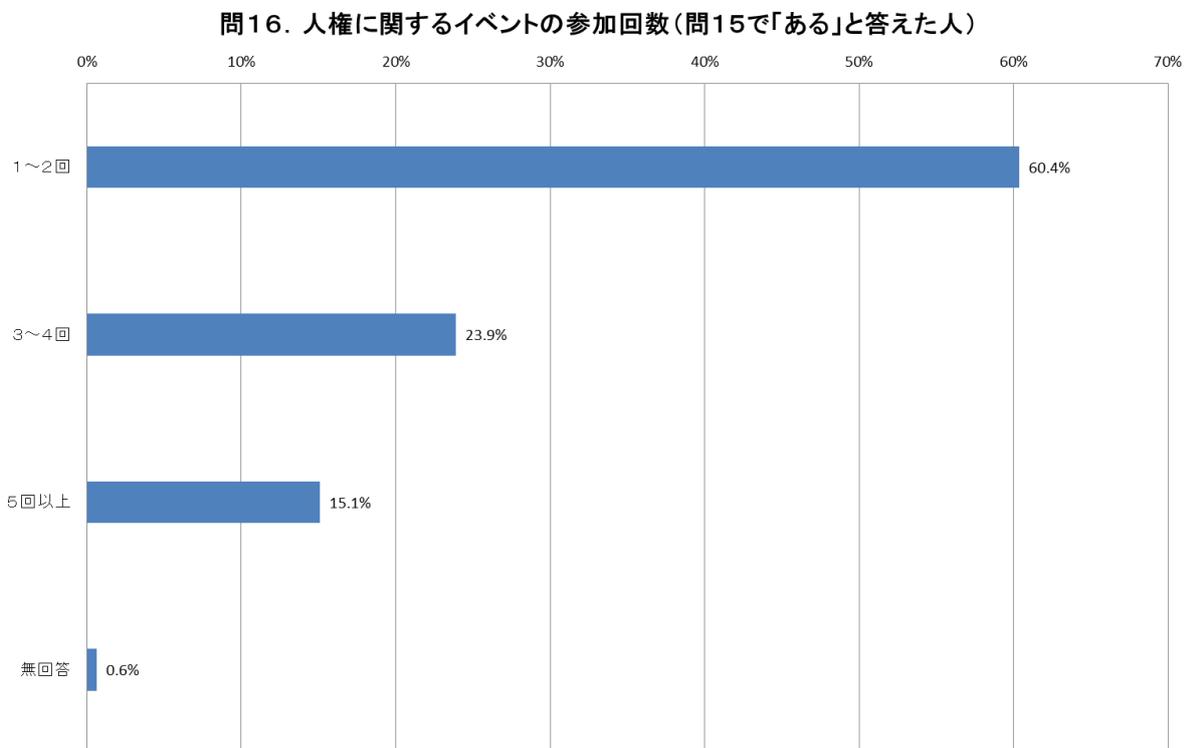
[京都府との比較]

精華町は京都府よりも「参加したことがある」が多くなっていますが、20%以下に留まっています。



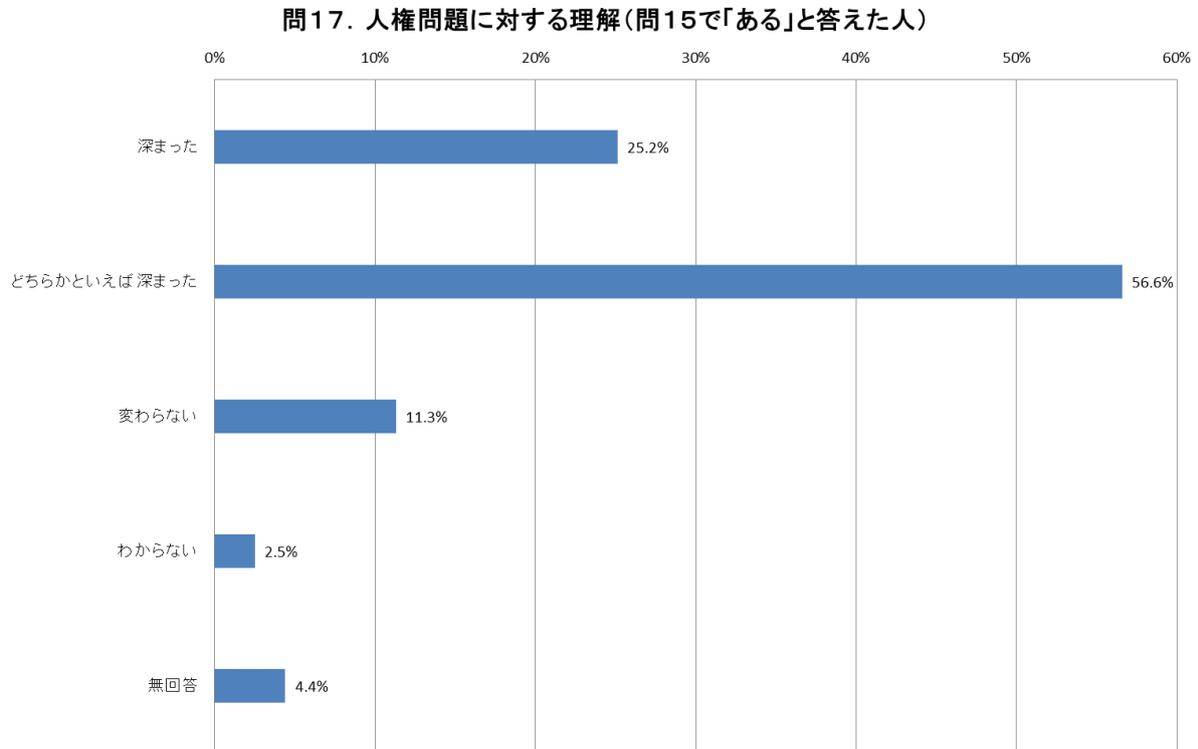
問 16 参加された回数について、次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

「1～2回」が最も多く 60.4%、次いで「3～4回」が 23.9%などとなっています。



問 17 あなたは、人権啓発に関するイベント等に参加して、人権や人権問題に対する理解・認識が深まりましたか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、回答票に○をつけてください。

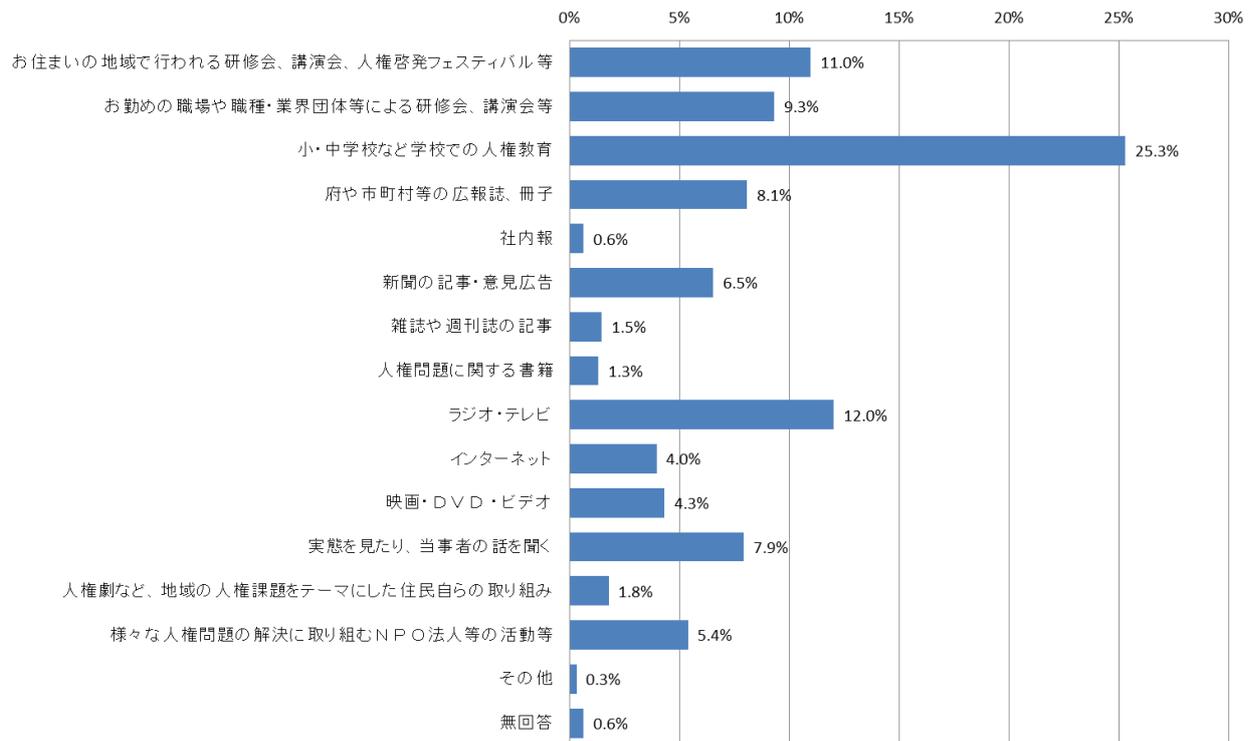
「どちらかといえば深まった」が56.6%、次いで「深まった」が25.2%などとなっています。



問 18 あなたは、人権問題について理解や認識を深めるためには、どのようなものが役立つと思いますか。次の中から役立つと思われる番号を3つまで選び、回答票に○をつけてください。

「小・中学校など学校での人権教育」が最も多く 25.3%、次いで「ラジオ・テレビ」が 12.0%などとなっています。

問18. 役立つと思う人権啓発



〔性別〕 〔年代別〕

全体での回答が多かった「小・中学校など学校での人権教育」「ラジオ・テレビ」「お住まいの地域で行われる研修会、講演会、人権啓発フェスティバル等」において、性別や年齢による違いがありました。

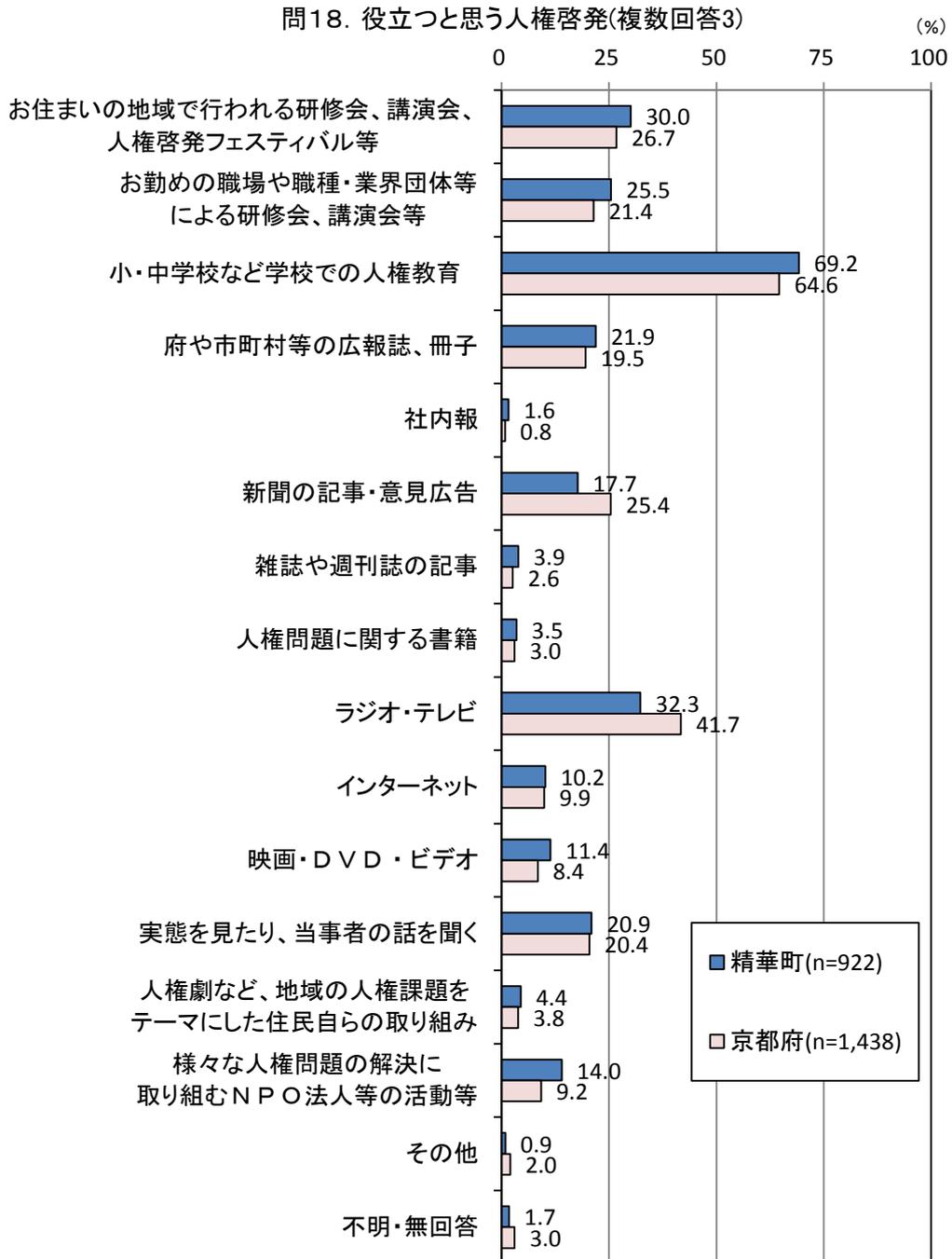
「小・中学校など学校での人権教育」においては、「女性」「20歳代」が多くなっています。「ラジオ・テレビ」においては「女性」が多くなっています。「お住まいの地域で行われる研修会、講演会、人権啓発フェスティバル等」においては、「70歳代」が多く「20歳代」「30歳代」が少なくなっています。

問18 役立つと思う人権啓発(複数回答3)

回答者数	比率(%)																
	会、お住 人権 啓発 フェ スチ バル 等 の 研 修 会 、 講 演	会、お 勤め の職 場や 職種 ・業 界団 体等 によ る研 修会 、講 演	小・中 学校 など 学校 での 人権 教育	府や 市町 村等 の広 報誌 、冊 子	社内 報	新聞 の記 事・ 意見 広告	雑誌 や週 刊誌 の記 事	人権 問題 に関 する 書籍	ラジ オ・ テレ ビ	イン ター ネッ ト	映 画・ DVD ・ビ デオ	実態 を見 たり 、当 事者 の話 を聞 く	人権 劇な ど、 地域 の人 権課 題を テー マに し	人権 問題 の解 決に 取り 組む NPO 法	その 他	不明 ・無 回答	計
20歳代 (n=75)	16.0	28.0	82.7	10.7	4.0	13.3	4.0	5.3	24.0	14.7	13.3	36.0	9.3	9.3	0.0	0.0	270.7
30歳代 (n=97)	20.6	30.9	77.3	6.2	4.1	12.4	6.2	5.2	27.6	19.6	13.4	38.1	3.1	8.2	1.0	1.0	275.3
40歳代 (n=148)	25.7	32.4	70.9	15.5	2.7	17.6	2.7	1.4	37.2	16.2	11.5	22.3	3.4	9.5	0.7	0.0	269.6
50歳代 (n=149)	32.9	27.5	69.1	15.4	0.7	17.4	6.0	1.3	37.6	12.8	13.4	18.8	5.4	13.4	0.0	0.0	271.8
60歳代 (n=209)	30.6	28.7	68.9	27.8	0.5	15.3	3.3	5.7	30.1	5.7	12.9	16.7	4.8	20.1	1.0	1.4	273.7
70歳代 (n=169)	42.0	14.2	63.3	33.1	0.6	24.9	2.4	3.0	33.1	3.0	7.7	16.6	4.1	17.2	1.2	1.8	268.0
80歳代以上 (n=58)	34.5	15.5	60.3	43.1	0.0	20.7	5.2	3.4	37.9	3.4	8.6	8.6	0.0	13.8	1.7	5.2	262.1
不明・無回答 (n=17)	17.6	11.8	41.2	17.6	5.9	17.6	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	35.3	182.4
性別																	
男性 (n=392)	34.9	29.1	63.0	24.5	1.3	17.3	5.1	3.6	27.8	12.5	9.7	20.9	5.4	14.8	1.0	0.5	271.4
女性 (n=493)	26.4	23.7	75.5	20.3	2.0	17.6	3.0	3.2	36.7	8.7	13.2	21.5	3.9	12.8	0.8	1.2	270.6
不明・無回答 (n=37)	27.0	10.8	51.4	16.2	0.0	21.6	2.7	5.4	21.6	5.4	5.4	13.5	2.7	21.6	0.0	21.6	227.0
計 (n=922)	30.0	25.5	69.2	21.9	1.6	17.7	3.9	3.5	32.3	10.2	11.4	20.9	4.4	14.0	0.9	1.7	269.2

[京都府との比較]

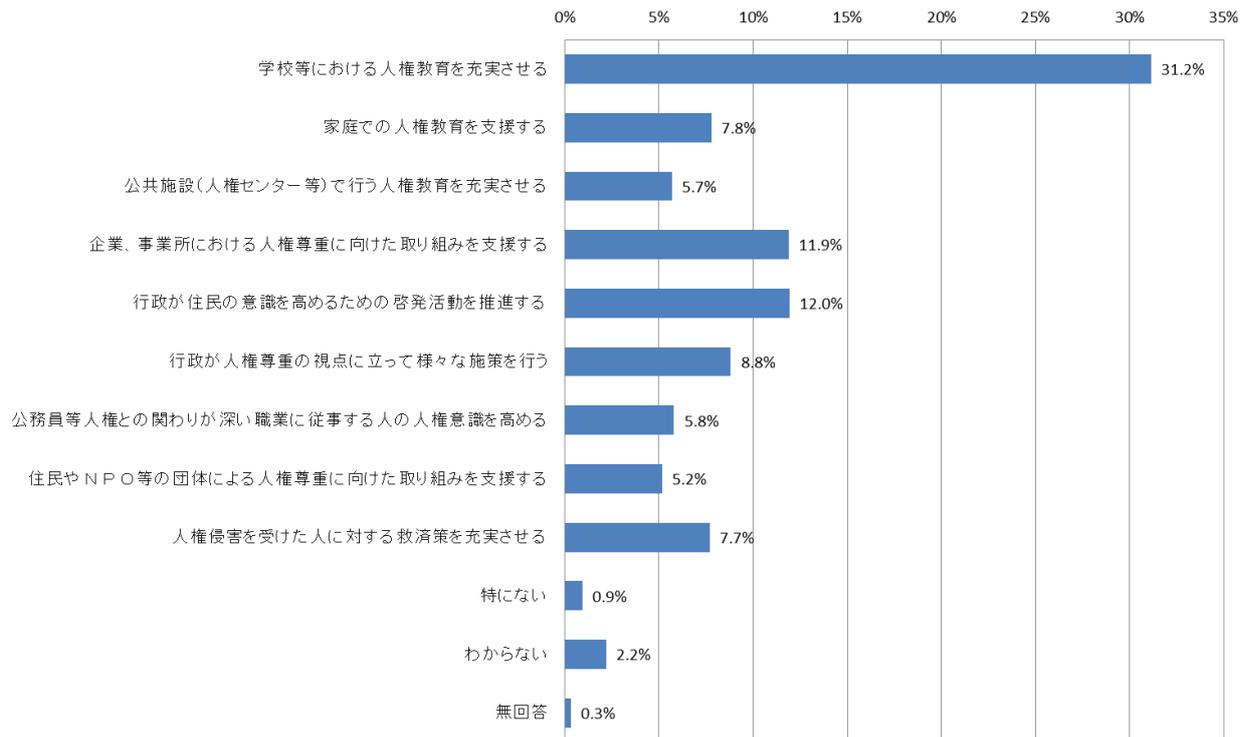
精華町、京都府ともに「小・中学校など学校での人権教育」が最も多く、次いで「ラジオ・テレビ」「お住まいの地域で行われる研修会、講演会、人権啓発フェスティバル等」などとなっています。



問 19	あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、どのような人権教育や啓発の施策が必要だと思いますか。次の中から特に重要と思われる番号を3つまで選び、回答票に○をつけてください。
------	--

「学校等における人権教育を充実させる」が最も多く 31.2%、次いで「行政が住民の意識を高めるための啓発活動を推進する」が 12.0%などとなっています。

問19. 人権が尊重される社会づくり



[性別][年代別]

全体での回答が多かった「企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する」「行政が住民の意識を高めるための啓発活動を推進する」において、性別や年齢による違いがありました。

「企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する」においては、「40 歳代」が多くなっています。「行政が住民の意識を高めるための啓発活動を推進する」においては、「80 歳代以上」「男性」において多くなっています。

また、20 歳代、30 歳代では「家庭での人権教育を支援する」が多くなっています。

問19 人権が尊重される社会づくり(複数回答3)

	回答者数	比率(%)											計		
		学校等における人権教育を充実させる	家庭での人権教育を支援する	公共施設(人権センター等)で行う人権教育	企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する	行政が住民の意識を高めるための啓発活動を推進する	行政が人権尊重の視点を立って様々な施策を行う	公務員の人権意識を高める	住民やNPO等との連携による人権尊重に向けた取り組みを支援する	人権侵害を受けた人に対する救済策を充実させる	特にな	わからない		その他	不明・無回答
20歳代	(n=75)	81.3	33.3	6.7	32.0	14.7	16.0	17.3	8.0	33.3	2.7	1.3	1.3	0.0	248.0
30歳代	(n=97)	82.5	34.0	9.3	33.0	16.5	21.6	8.2	11.3	20.6	5.2	5.2	1.0	1.0	249.5
40歳代	(n=148)	85.8	18.2	12.2	39.2	24.3	23.6	10.1	7.4	18.9	2.0	4.7	0.7	0.0	247.3
50歳代	(n=149)	79.9	16.1	15.4	34.2	26.2	19.5	16.8	14.8	23.5	0.7	5.4	0.0	0.0	252.3
60歳代	(n=209)	78.0	17.7	13.9	32.5	32.5	22.0	16.3	16.7	21.5	2.4	5.7	1.0	1.4	261.7
70歳代	(n=169)	76.9	16.6	21.9	20.7	42.0	26.6	13.6	17.8	14.2	2.4	5.3	0.6	1.8	260.4
80歳代以上	(n=58)	81.0	12.1	20.7	15.5	55.2	20.7	24.1	6.9	5.2	1.7	8.6	1.7	5.2	258.6
不明・無回答	(n=17)	41.2	5.9	0.0	17.6	17.6	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	35.3	152.9
性別 男性	(n=392)	78.3	20.2	17.1	31.1	34.7	21.4	14.5	14.5	17.1	2.6	3.6	1.0	0.5	256.6
女性	(n=493)	82.8	19.7	12.6	31.4	27.0	22.3	14.8	11.2	22.5	2.0	6.5	0.8	1.2	254.8
不明・無回答	(n=37)	51.4	16.2	10.8	8.1	18.9	18.9	10.8	18.9	5.4	5.4	5.4	0.0	21.6	191.9
計 全体	(n=922)	79.6	19.7	14.4	30.4	29.9	21.8	14.5	12.9	19.5	2.4	5.2	0.9	1.7	253.0

[京都府との比較]

精華町、京都府ともに「学校等における人権教育を充実させる」が最も多く、次いで、精華町では「企業、事業所における人権尊重に向けた取り組みを支援する」などとなっています。

問19. 人権が尊重される社会づくり(複数回答3)

(%)

